

平成10年度 家庭教育子育て支援推進事業報告書

福岡県における中学生の意識・行動と
親の養育態度・行動の実態調査のまとめ

(電子版)



コピーOK

学校教育OK

利用の際は必ず下記サイトを確認下さい。

www.bunka.go.jp/jiyuriyo

福岡県立社会教育総合センター

はじめに

家庭における教育は、子どもの「生きる力」を育むために、家族とのふれあいを通じ、子どもの成長のそれぞれの段階に応じた基礎的な資質や能力を育成するもので、すべての教育の出発点でもあります。また、家庭における教育は、本来、家庭の責任において行われ、その教育方法も家庭に委ねられており、家庭それぞれの価値観やスタイルに基づいて行われるべきものです。

しかし、近年の急激な社会の変化や子どもを取り巻く生活環境等の変化は、人々の価値観の変化を生み、親の家庭教育に関する考え方にも変化を生じさせています。

このような変化の中、福岡県立社会教育総合センターでは、心豊かなたくましい子どもの育成と家庭教育の充実を図るために「家庭教育子育て支援推進事業」を実施し、幼児・新小学1年生・新中学1年生を持つ保護者を対象に家庭教育啓発冊子「子育てハンドブック」の作成・配布をはじめ、テレビ放送による子育て番組「子育てひろば」の放映、子育て等の親の悩みに応える相談事業「家庭教育110番」の設置、家庭教育に関する学習機会の提供、親子のふれあいを主活動とした親子の共同体験・交流事業など各種の関連事業を実施して参りました。

本年度は、中学生とその保護者を対象に「中学生の意識・行動と親の養育態度・行動の実態調査」を実施し、昭和57年、平成5年に実施しました同趣旨の調査と15年間の経年比較しながらその実態を明らかにし、今後の家庭教育振興のための基礎資料を得ると共に、家庭教育の指導資料（本報告書）としてまとめました。

この報告書を各市町村教育委員会や関係機関・団体において家庭教育関係事業等の参考資料として活用いただければ幸いです。

最後に、本事業を実施するにあたり、御尽力いただきました企画推進委員及び各部会委員の諸先生方、並びに調査協力いただきました関係学校及び保護者の方々に心からお礼申し上げます。

平成11年3月

福岡県立社会教育総合センター
所長 森本精造

も く じ

はじめに

福岡県における中学生の意識・行動と親の養育態度・行動の実態調査のまとめ

第1章 調査の概要	1
第2章 中学生の意識・行動の実態	5
第3章 父親・母親の養育態度・行動の実態	17
第4章 まとめと今後の課題	29

資料編

アンケート調査実施要項

調査票

集計データ

福岡県における中学生の意識・行動と
親の養育態度・行動の実態調査のまとめ

第1章 調査の概要

1 調査の目的

近年の家庭教育の在り方をみると、親子の会話の減少や過保護、甘やかしすぎな親の増加、また、子どもの規範意識の低下などが指摘されている。

このような中、福岡県では昭和57年、平成5年に「中学生の意識・行動と父親・母親の養育態度・行動の実態調査」を同じ趣旨により県内同一中学校において実施してきた。そこから見えてきた中学生の実態は、友人関係において異性も含めて交友の広がり、親密さが増加しながらも学校は楽しくなく、行きたくない気持ちや遅刻の増加がみられた。また、甘くなった親に頼った家庭生活にはすっかり満足し、中学生にとって家庭は、単に居心地のよいものになり、子育てを促す教育機能が低下することとなり、その結果、中学生は親の影響から離脱する姿が見受けられた。

親の養育態度・行動の実態では、父親は子どものことについて悩まなくなり、しつけも甘く、子どもとの接触が減り、ほめてやったり将来を語り合ったりということをしなくなり、しつけや子どもの養育に自信をなくす父親の増加が見受けられた。母親では我が子は自主性を持っていると認め、よその子との比較はしなくなったが、男らしさや女らしさを求める思いは強くなっている傾向が見受けられた。

親子間では我が子の自主性、忍耐力、積極性に対しては親の評価の方が約10%低く、親子交流では子どもの評価の方が約20%低い結果となっていた。

これらの実態を踏まえ、本年度は、昭和57年、平成5年と同じ趣旨の基に、同種の調査を同一中学校で実施し、(1)中学生は自らの生活をどのように行い、どのように意識しているのかを明らかにする。(2)中学生を持つ保護者の養育態度・意識がどのように変化しているか。(3)子どもの生活の実態と保護者の養育態度との関連性を探り、望ましい保護者の在り方を具体的に明らかにしていくことを目的とし、さらには、経年変化をたどることにより時代とともに変化する保護者の養育態度・行動を明らかにし、今後の福岡県における家庭教育の充実に資することを目的とした。

2 調査の方法

(1) 調査対象

本調査は、福岡県下6地区、6中学校の中学生2,973名とその保護者を対象として実施した。回収数は中学生2,243サンプルで回収率75.4%であった。ただし、有効サンプル数は中学生2,222サンプル、父親1,980サンプル、母親2,119サンプルで、有効率は中学生99.1%、父親98.9%、母親98.3%であった。実際の集計に当たっては保護者の記入者が父親、母親以外の回答及び回答者不明なものはサンプル数から除外した。

サンプルの内訳を中学生の学年・性別という条件で分類すると表1、2、3となる。

表1 中学生の学年・性別サンプル数

	1	2	3	計
男子	380	357	335	1,072
女子	358	400	392	1,150
合計	738	757	727	2,222

表2 父親の学年・性別サンプル数

	1	2	3	計
男子	337	333	306	976
女子	310	349	345	1,004
合計	647	682	651	1,980

表3 母親の学年・性別サンプル数

	1	2	3	計
男子	344	335	318	997
女子	341	393	388	1,122
合計	685	728	706	2,119

(2) 調査の方法

本調査は、質問総数22項目からなる調査票「生活に関するアンケート」(中学生用)と「中学生の家庭教育に関するアンケート」(保護者用)によって、無記名で行った。なお保護者用の調査票は男性用と女性用を作成し、質問構成と内容は全く同一のものを使用した。

これらの調査票の構成は次のとおりである。

ア 生活に関するアンケート(中学生用)

中学生の実態を把握するにあたり、生活領域を基本に学校と家庭に大別してそれぞれの領域で主な事項と考えられることについて質問した。学校生活では、勉強、友人関係、クラス活動について質問し、家庭生活では、基本的な生活習慣、家庭学習、テレビ視聴について質問した。親子の交流については別項とし、日常対話、親のイメージ、親の養育態度を取り上げている。また、個人生活として自由時間の過ごし方、関心ごとについて質問し、最後に中学生自身の自己評価と悩みについて問いかけをした。

イ 中学生の家庭生活に関するアンケート(保護者用)

親の養育態度を家庭生活(養育行動)と親子交流に分け、あわせて子どもの評価と養育意識を取り上げ、4つの領域について質問した。家庭生活(養育行動)では基本的な生活習慣、言葉づかい、成績要因について、親子の交流では日常対話、交流について質問した。子どもの評価では子どもの性格、接し方、悩みについて問いかけ、養育意識では充実感、自己評価、養育情報、しつけの目標について取り上げた。

なお、本年度調査の結果と昭和57年、平成5年の調査結果(以降「初回」調査、「前回」調査という)を数量的に比較することによって経年の変化を得るため、前回の調査項目を基本としながら今回の調査を行った。

本年度の調査票の構成を表4に示している。具体的な質問内容と回答結果は、本文中ならびに本報告書の末尾に掲載している。

(3) 調査の実施方法と時期

調査の実施にあたっては、調査票を直接協力校に持参し、生徒を通じて家庭に配布し記入してもらった。回収は各中学生とその保護者の回答を一組として、配布と逆のルートを経由して行った。

調査の実施時期は、平成10年6月～7月、回収時期を8月とした。調査協力校は初回及び前回調査校と同一校の6中学校で実施した。調査協力校名については、本報告書の末尾に掲載している。なお、調査結果集計のためのコンピュータ処理については、当センターにおいて行った。

3 分析の基本的視点

調査結果の分析は、基本的に調査票の構成（表4）に沿って行った。本報告書では、各質問項目ごとに、中学生については学年別、男女別、親については父親・母親別、子どもの学年別及び性別について分析を行い、その傾向と特徴について説明を加えている。さらに特徴的な項目については「初回」調査、「前回」調査との比較を試みている。親と子どもの回答を対比させた項目については、親のところで中学生への調査を述べる際には「中学生調査」、中学生のところで親を述べる際には「親調査」と表示している。

表4 調査票の構成（丸数字はアンケートの設問番号）

<中学生への質問項目>

〔1〕学校生活（3問）

- (1)勉強
 - ①勉強の目的
- (2)友人関係
 - ②親友
- (3)クラス活動
 - ③決められた仕事

〔2〕親子交流（4問）

- (1)日常対話
 - ④将来人生 ⑤学校生活
- (2)イメージ
 - ⑥家族存在
- (3)養育態度
 - ⑦甘いか

〔3〕家庭生活（5問）

- (1)基本的生活習慣
 - ⑧こづかいのもらい方 ⑨手伝い
 - ⑩生活満足度
- (2)家庭学習
 - ⑪塾・家庭教師
- (3)テレビ視聴
 - ⑫テレビ視聴時間

〔4〕個人生活（4問）

- (1)自由時間の過ごし方
 - ⑬楽しい場所 ⑭休日の過ごし方
- (2)関心
 - ⑮ファッション ⑯異性

〔5〕自己評価（6問）

- (1)自己評価
 - ⑰自主性 ⑱積極性 ⑲忍耐力
- (2)悩み
 - ⑳悩み・困惑 21相談相手
 - 22学校に行きたくない意識

<親への質問項目>

〔1〕家庭生活（5問）

- (1)基本的生活習慣
 - ①起床 ②校則違反
 - ③宿題・手伝い忘れ
- (2)言葉づかい
 - ④親への言葉
- (3)学習
 - ⑤成績の影響要因

〔2〕親子交流（4問）

- (1)日常対話
 - ⑥将来・人生の話
 - ⑦学校生活の話
- (2)親子交流
 - ⑧家庭への意見・相談 ⑨ほめる

〔3〕子どもの評価（7問）

- (1)子どもの生活
 - ⑩自主性 ⑪積極性 ⑫忍耐力
- (2)接し方
 - ⑬他の子との比較
 - ⑭男女別の注意 ⑮殴りたい
- (3)悩み
 - ⑯子どもの悩み

〔4〕養育意識（6問）

- (1)親の意識
 - ⑰生きがいの対象
 - ⑱しつけの自信 ⑲しつけの甘さ
 - ⑳世話
- (2)養育意識
 - 21しつけの学習
 - 22しつけの心配り

第2章 中学生の意識・行動の実態

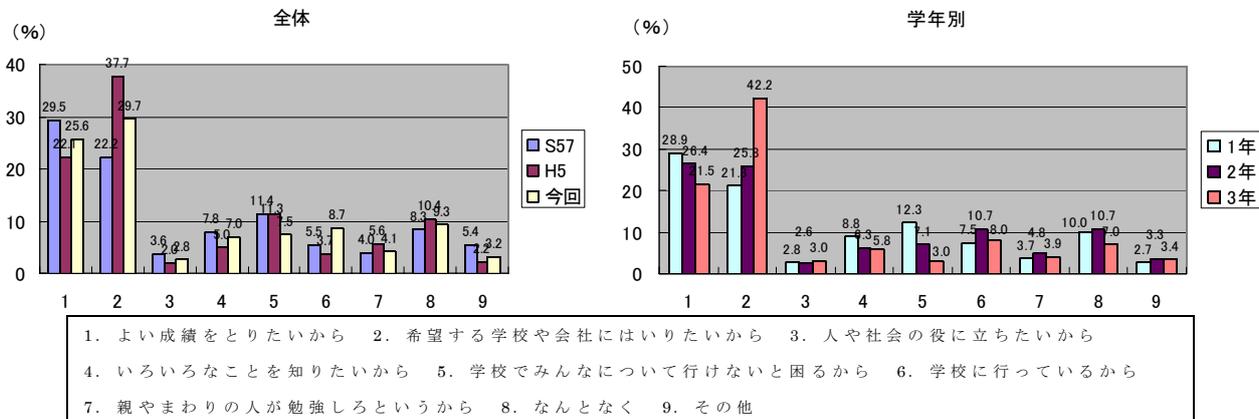
1 学校生活

現代の中学生はどのような学校生活を過ごしているのだろうか。

(1) 勉強

Q①勉強の目的

あなたが、ふだん勉強をするのはどうしてですか。



1. よい成績をとりたから 2. 希望する学校や会社にはいりたいから 3. 人や社会の役に立ちたいから
 4. いろいろなことを知りたいから 5. 学校でみんなについていけないと困るから 6. 学校に行っているから
 7. 親やまわりの人が勉強しろというから 8. なんとなく 9. その他

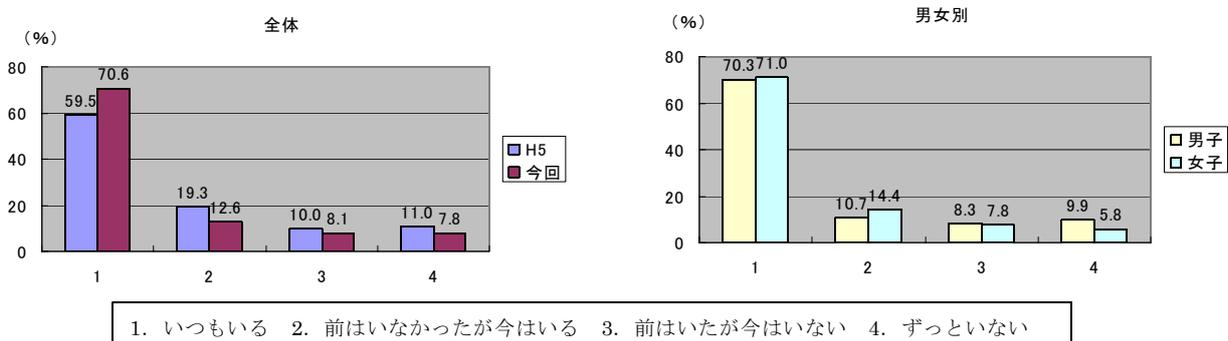
最も割合が高いのは「希望する学校や会社にはいりたいから」で29.7%、次いで「よい成績をとりたから」が25.6%であり、この順位は前回と変わらない。また、初回、前回に比べ「学校でみんなについていけないと困るから」が7.5%と大きく減少している。

学年別では「よい成績をとりたから」が1年生で28.9%、2年生で26.4%と最も割合が高いのに対して3年生では「希望する学校や会社にはいりたいから」が42.2%で1位となり、進路を意識しての学習姿勢がうかがえる。男女別では「よい成績をとりたから」が男子で28.0%に対して女子で23.4%、「学校に行っているから」が男子で6.6%に対して女子で10.7%とそれぞれ開きがある。

(2) 友人関係

Q②親友

あなたは、おたがいを理解し、心をうちあけて話せる「親友」がいますか。



1. いつもいる 2. 前はいなかったが今はいる 3. 前はいたが今はいない 4. ずっといない

「いつもいる」が70.6%と前回より11.1ポイント増加している。反面、「前はいたが今はいない」「ずっといない」はわずかだが減少している。

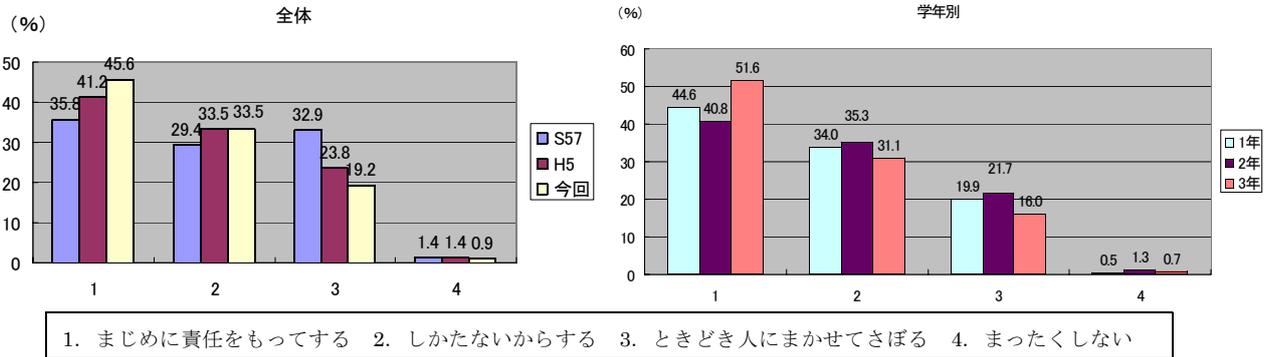
学年別ではあまり違いはみられない。男女別では「前はいなかったが今はいる」が男子で10.7%に対して女子で14.4%、「ずっといない」は男子で9.9%に対して女子で5.8%と開きがみられる。

初回では友人が「いる」「いない」の回答のみとしたためグラフには取り入れていない。

(3) クラス活動

Q③決められた仕事

あなたは、掃除当番やクラスで決められた仕事をどのようにしていますか。



「まじめに責任をもってする」が調査の回を追うごとに増加し、前回より4.4ポイント高い45.6%、「ときどき人にまかせてさぼる」は減少し、前回より4.6ポイント低い19.2%となり、クラスで決めた仕事にまじめに取り組もうとしている姿がうかがえる。

学年別では「まじめに責任をもってする」で3年生が51.6%と過半数の割合を示し、2年生より10.8ポイント、1年生より7ポイント高くなっている。男女別では女子が男子より6.2ポイント高くなっている。

まとめ

中学生が一日の大半を過ごす学校での生活上の諸実態を「勉強」「友人関係」「クラス活動」という視点でみてきたが、今日の中学生の約65%が自らの意志で勉学に取り組んでいる。しかし、2年生で「学校に行っているから」「親やまわりの人が勉強しろというから」「なんとなく」の割合が増加し、受動的に勉強に取り組む姿がみられる。また、学年が進むにつれて成績に視点をおいた勉強から進学・就職と進路に視点を向けた勉強へと移行している。友人関係においては学年が進むにつれて親友が「いない」とする割合が増加し、「いる」とするのは2年生で85.8%と最も多くなっている。クラス活動を学年別にみると3年生が一番まじめに責任をもって仕事に取り組んでおり、次いで1年生、2年生の順となっている。学年別での「ときどき人にまかせてさぼる」「まったくしない」では2年生が23.0%と最も多い。

2 親子交流

家庭における親子の交流の姿を子どもの視点からみるとどうだろうか。

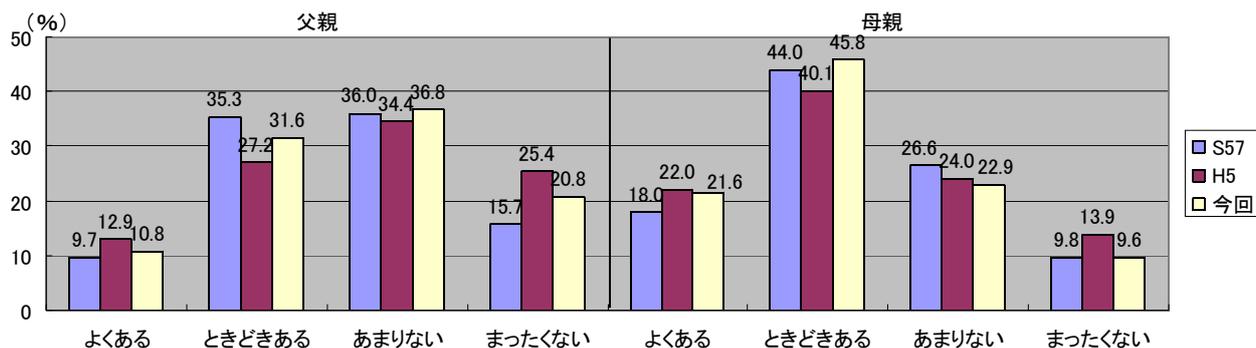
(1) 日常対話

Q④将来人生

初回、前回と同様に父親よりも母親と将来や人生について話す割合が高い。

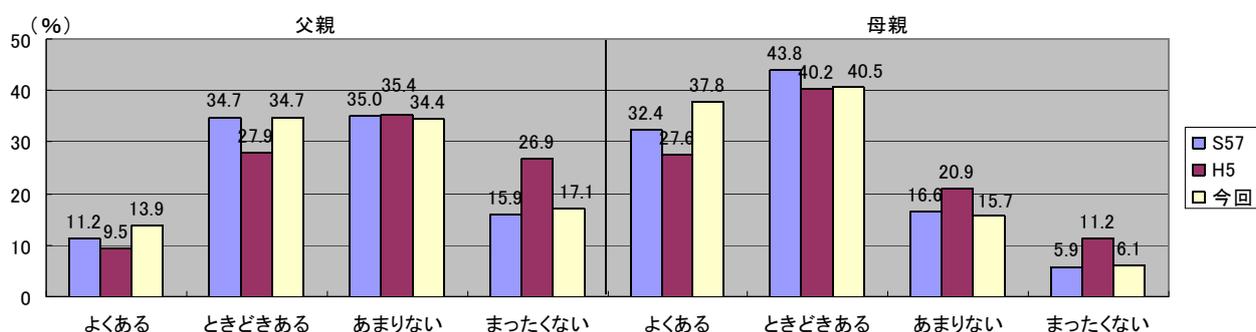
学年別では父親と話す割合は「よくある」「ときどきある」を合わせて1年生で39.1%、2年生で37.4%、3年生で50.3%、母親では1年生で63.8%、2年生で64.1%、3年生で74.4%と父親母親共に3年生の割合が高い。男女別では父親と話すことが「よくある」「ときどきある」を合わせて男子が44.5%、女子が40.2%で男子の方が高く、母親とは男子が60.2%、女子が74.0%と女子の方が高く、それぞれ同姓の親と話をする割合が高くなっている。

あなたは、家族の人と将来や人生のことについて話すことがありますか。



Q⑤ 学校生活

あなたは、家族の人と学校生活について話すことがありますか。



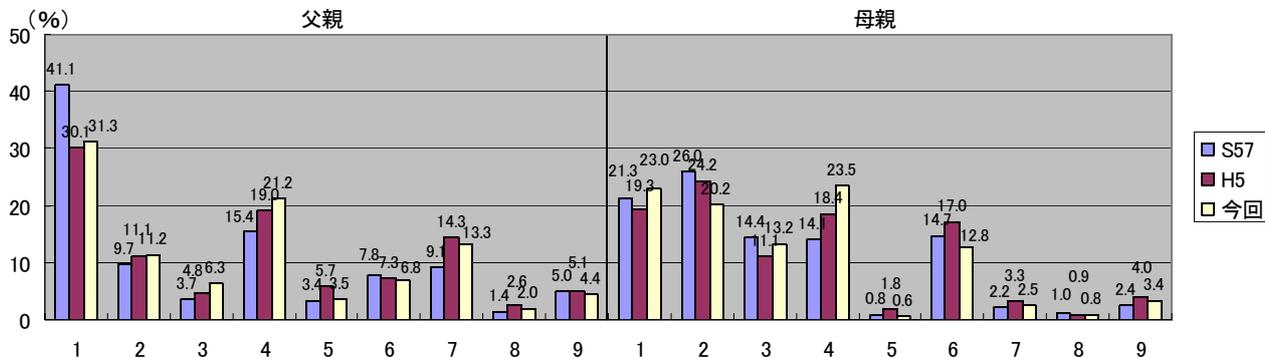
初回、前回と同様に父親より母親と話す割合が高い。前回に比べ「よくある」が父親で4.4ポイント、母親で10.2ポイント増加している。

学年別では父親と話すことが「よくある」「ときどきある」を合わせて1年生が55.8%、2年生が43.2%、3年生が47.3%、母親とは1年生が82.0%、2年生が75.2%、3年生が77.6%であり、父親母親共に2年生に会話の少なさがみられる。男女別では父親と話すことが「よくある」「ときどきある」を合わせて男子が47.2%、女子が50.1%、母親とは男子が69.4%、女子が86.3%とそれぞれ女子の方が高くなっている。

(2) イメージ

Q⑥ 家族の存在

あなたにとって、家族の人はどのような存在ですか。



1. 尊敬ができたり、たよりになる人 2. 理解のある人 3. 友だちのような親しみのもてる人 4. いろいろ教え指導してくれる人
5. 自分勝手に無責任な人 6. 口うるさい人 7. 生活費をかせいでくれる人 8. 放任で甘い人 9. その他

父親のイメージは「尊敬ができたり、たよりになる人」が31.3%で初回、前回につづき1位である。次いで「いろいろ教え指導してくれる人」が21.2%であり、「友だちのよう

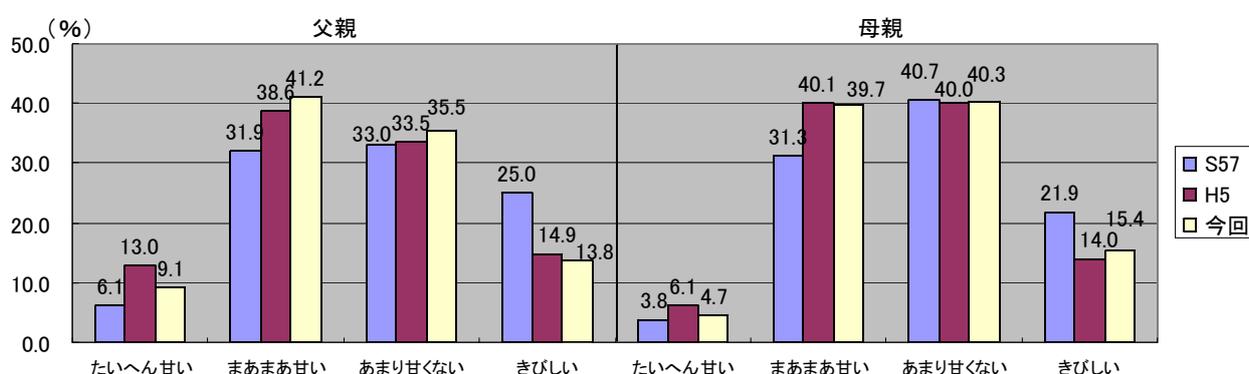
な親しみのもてる人」と共に調査の回を追うごとにその割合は増加している。母親のイメージは「理解のある人」が初回、前回と1位であったが調査の回を追うごとに減少し、前回に比べ4ポイント低く20.2%となっている。反対に「いろいろ教え指導してくれる人」は増加し、前回に比べ5.1ポイント高く23.5%で1位になっている。

学年別では父親の「尊敬ができたり、たよりになる人」が1年生で36.0%、2年生で33.3%、3年生で24.8%、母親では1年生が29.3%、2年生が22.9%、3年生が16.9%と学年が進むにつれ大きく減少している。男女別では母親に対して男子は「いろいろ教え指導してくれる人」が27.1%で1位であるが、女子では「尊敬ができたり、たよりになる人」が25.2%で1位と母親に対するイメージの違いがみられる。

(3) 養育態度

Q⑦ 甘いか

あなたの家族の人は、あなたに対して甘い方だと思いますか。



親は自分に対してどのように接しているのか。子どもの眼から親をみてみた。

父親は「まあまあ甘い」が増加傾向にあり、「きびしい」は漸減傾向にある。母親では大きな変化はみられない。

学年別では父親が「たいへん甘い」「まあまあ甘い」を合わせて1年生で48.3%、2年生で51.0%、3年生で52.6%、母親では1年生で40.2%、2年生で44.1%、3年生で48.8%となり、中学生は学年が進むにつれて親の接し方に「甘さ」を感じている。男女別では「たいへん甘い」「まあまあ甘い」を合わせ、男子では父親母親共に違いはないが、女子では父親が58.2%に対して母親が44.7%と父親の女子に対する「甘さ」がみられる。「親調査」の「しつけに甘いか」の項目では父親は男女共に「甘い」とする傾向があった。

まとめ

日常対話において父親母親共に増加傾向にある。特に「学校生活」については父親母親共に「よくある」が増加し、家庭での対話が増加していることがうかがえる。しかし、父親より母親との対話の割合が多く、父親のさらなる関わりが必要であろう。また、2年生は「学校生活」についての会話の割合が他の学年より低く、この時期を思春期だからとして捉えるだけでなく、親からの会話を図ってもらいたい。親のイメージは父親母親共に「尊敬ができたり、たよりになる人」が高い割合であるが、「いろいろ教え指導してくれる人」が増加傾向にあり、親子の交流を通しての関わりが増加していることがうかがい知れる。また、きびしい父親像があるものの対話増加などからそのイメージも柔らかくなりつつある。しかし、まだまだ母親に対しての交流の強さがみられ、さらなる父親の関わり

が求められる。

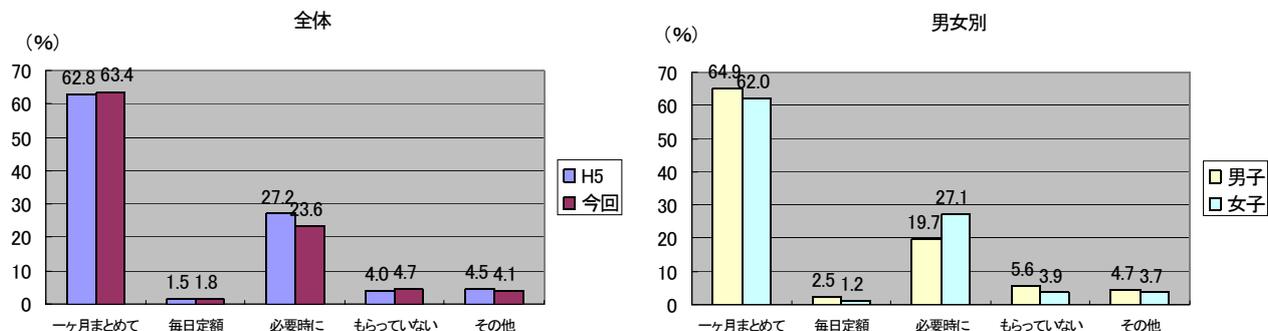
3 家庭生活

中学生の家庭生活はどのようなものであろうか。

(1) 基本的生活習慣

Q⑧ こづかい

あなたは、こづかいをどのようにもらっていますか。

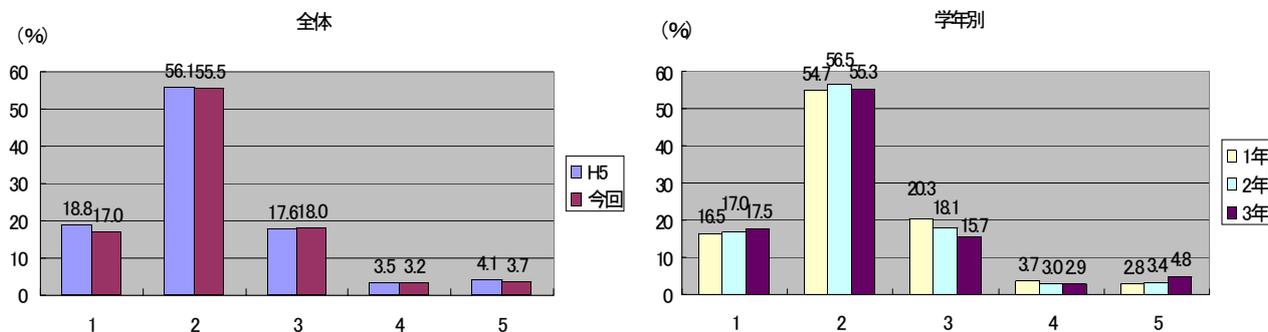


前回と大きな違いはみられない。

学年別では全学年とも約60%が「一か月まとめて」こづかいをもらっている。男女別では「必要時に」もらっている男子が19.7%に対して女子が27.1%と開きがみられる。

Q⑨ 手伝い

あなたは、家の手伝いをしていますか。



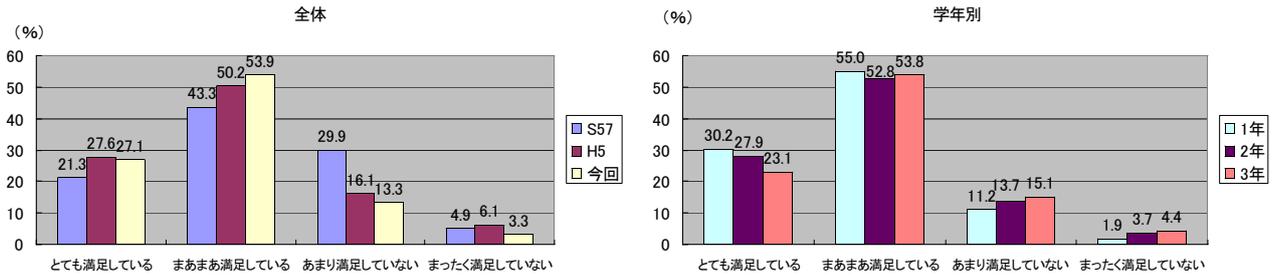
1. 言われなくてもする 2. 言われたらする 3. 言われてもしないことがある 4. 言われてもしない 5. 言われないのでしない

前回と大きな変化はみられない。

学年別では「言われてもしないことがある」が1年生で20.3%、2年生で18.0%、3年生で15.7%と学年が進むにつれ減少している。男女別では「言われたらする」で男子が57.8%、女子が53.4%と4.4ポイントの開きがある。

Q⑩生活の満足度

あなたは、家庭生活に満足していますか。



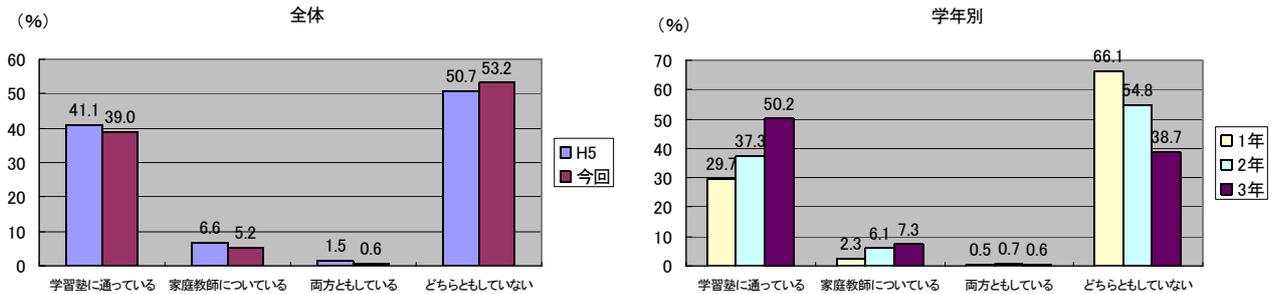
「満足している」割合が81%と前回より3.2ポイント高くなっているのに対して「満足していない」割合は減少傾向にあり、前回に比べ5.6ポイント低くなっている。

学年別では「とても満足している」が1年生で30.2%、2年生で27.9%、3年生で23.1%と学年が進むにつれ減少し、「まったく満足していない」が1年生で1.9%、2年生で3.7%、3年生で4.4%と増加傾向にある。男女別では大きな違いはみられない。

(2) 家庭学習

Q⑪塾・家庭教師

あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師についたりしていますか。(おけいごとはのぞく)



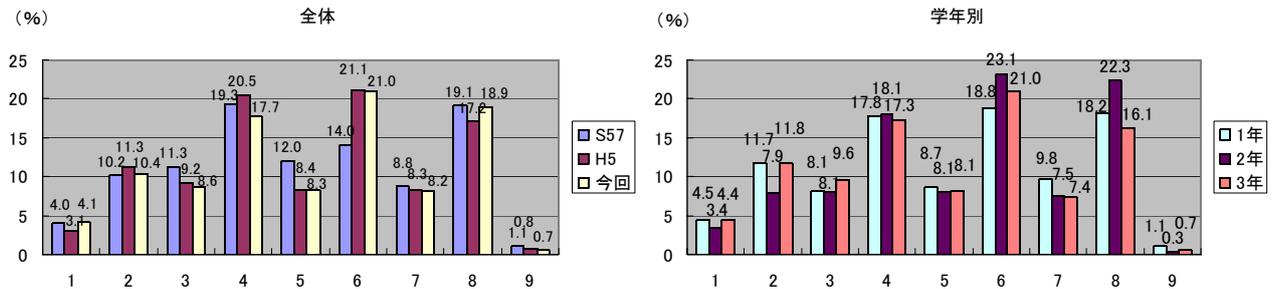
「学習塾に通っている」「家庭教師についている」共に前回よりわずかに減少している。

学年別では「学習塾に通っている」「家庭教師についている」割合が1年生で32.5%、2年生で44.1%、3年生で58.1%と学年が進むにつれ大幅に増加している。男女別では大きな違いはみられない。前々回の調査については集計方法が異なるためグラフには取り入っていない。

(3) テレビ視聴

Q⑫テレビ視聴時間

あなたは、平均してテレビを1日どのくらいみていますか。(日曜日や休日はのぞく)



1. 30分以上 2. 1時間程度 3. 1時間30分程度 4. 2時間程度 5. 2時間30分程度
6. 3時間程度 7. 3時間30分程度 8. 4時間以上 9. まったくみていない

テレビの視聴時間は「3時間程度」「4時間以上」「2時間程度」の順となり、それぞれ21.0%、18.9%、17.7%である。

学年別では「3時間以上」の割合が1年生で46.8%、2年生で52.9%、3年生で44.5%と2年生の視聴時間の割合が一番多い。男女別では「3時間以上」の割合が男子で45.8%に対して女子で50.4%と4.6ポイントの開きがある。

まとめ

基本的な生活習慣については前回と大きな変化はみられない。受動的ではあるが家族の一員として「手伝い」を行い、今の家庭生活を「満足」している中学生が多い。ただ、中学生の帰宅時間等を考慮すると、帰宅後の家庭生活の中でテレビを視聴する割合が多いことがわかる。家族の団らんの場所としての家庭はテレビ中心のくつろぎの場になっているのかも知れない。家庭学習では3年生の6割弱が塾や家庭教師等の受験勉強対策をとっており、3年生の家庭生活のゆとりのなさをうかがわせている。しかし、その中であつても子どもにとって家庭は、安らぎと家族団らんの場であることを親は認識しておくべきである。

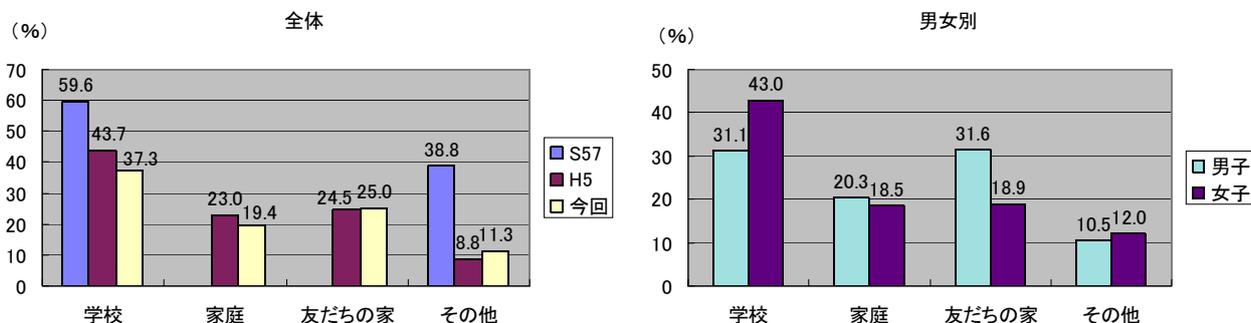
4 個人生活

中学生は、どんな場所を楽しい居場所と考えているのであろうか。また、休日をどのように過ごしているのであろうか。ファッションや異性への関心度もみてみた。

(1) 自由時間の過ごし方

Q⑬楽しい場所

あなたは、どこにいる時に楽しいと感じることが多いですか。

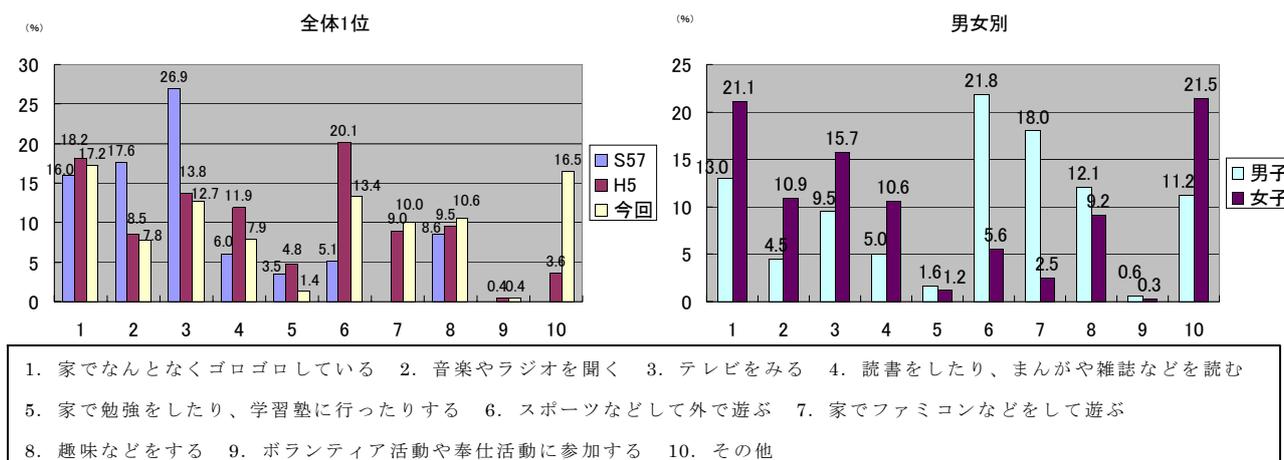


楽しいと感じる場所として「学校」が前回、今回と減りつづけている。初回の設問は多少異なるが、初回の59.6%が今回は37.3%まで減少し、その差は22.3ポイントに達する大幅な減少である。「家庭」についても前回に比べ3.6ポイント減少している。一方で「友だちの家」「その他」は微増にとどまっている。

学年別では学年が進むにつれて楽しいと感じる場所として「学校」が増加している。男女別では「学校」が男子で31.1%、女子で43.0%と11.9ポイント女子が高く、「友だちの家」が男子で31.6%、女子で18.9%と12.7ポイント男子が高くそれぞれ大きな開きがある。相対的に女子は学校を楽しいと感じており、男子は友だちの家を楽しいと感じている傾向にある。

Q⑭ 休日の過ごし方

あなたは、休日をどのように過ごしていますか。



休日をどのように過ごしているか10の選択肢から1位、2位の2つをあげてもらった。初回の選択肢には「ファミコン」「ボランティア」の2枝はなかった。

第1位の項では初回と前回、前回と今回で大きく異なる傾向を示している。初回のトップは「テレビ」だったが前回では「スポーツ」に変わり、今回は「家でゴロゴロ」になっている。今回の順位は「家でゴロゴロ」「スポーツ」「テレビ」「趣味」「ファミコン」の順である。今回の特徴として「その他」が16.5%と急増しているがその内容はわからない。

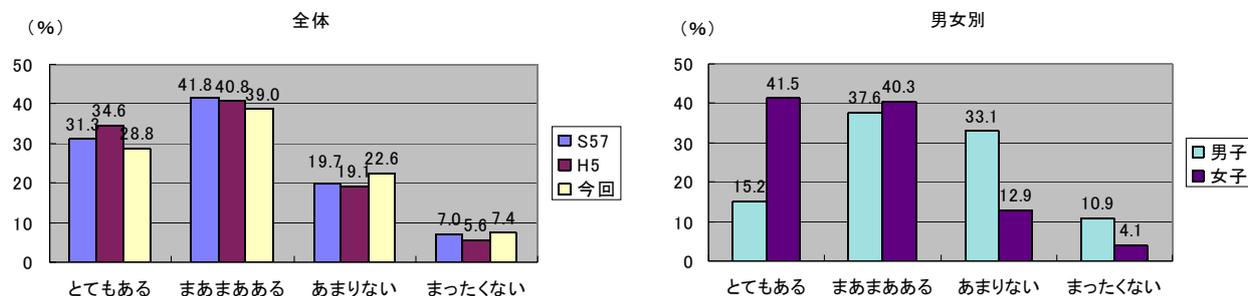
第2位の項は前回と今回の比較だけである。大きな変化は見られないが「勉強・塾」が6.5%から3.1%に減少している。「その他」は2.8%から5.0%に増加している。

学年別では学年が進むにつれて増加するのが第1位の項で「家でゴロゴロ」「音楽・ラジオ」、第2位の項では「音楽・ラジオ」である。減少するのが第1位の項で「スポーツ」「ファミコン」、第2位の項では「読書・マンガ」「スポーツ」である。男女別では第1位2位共に大きな違いがある。第1位の項の「家でゴロゴロ」が男子で13.0%に対して女子では21.1%、「スポーツ」が男子で21.8%に対して女子では5.6%と極端な開きがある。

(2) 関心

Q⑮ ファッション

あなたは、服装や髪型などファッションに関心がありますか。



服装や髪型などファッションに関心があるかの問いに「とてもある」「まあまあある」共に前回より減少傾向にあり、合わせて7.6ポイントの減少である。反対に「あまりない」「まったくない」は合わせて5.3ポイントの増加である。

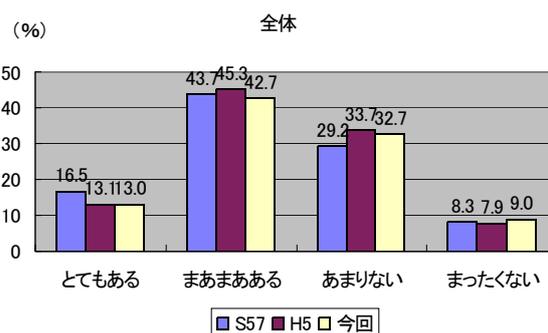
学年別では「あまりない」が3年生で2年生より7ポイント低く、「とてもある」では6.8ポイント高い。男女別では「とてもある」が男子で15.2%に対して女子で41.5%、「あまりない」が男子で33.1%に対して女子で12.9%とそれぞれ大きな開きがある。

Q⑩異性

初回、前回、今回と大きな変化は見られない。「まあまあある」が前回に比べ2.6ポイント減少している程度である。

学年別では「あまりない」が2年生で36.5%から3年生で24.9%と11.6ポイント減少している。男女別では「あまりない」が男子で39.2%に対して女子で26.6%と12.6ポイント、「とてもある」が男子で8.7%に対して女子で17.0%と8.3ポイントの開きがある。男子よりも女子が、そして学年が進むにつれて異性への関心が高くなる。

あなたは、異性に関心がありますか。



5 自己評価

中学生は自らの自己決定や積極性・耐性をどう評価しているのでしょうか。また、何について悩み、その悩みを誰に相談しているのか、さらに登校に対する意欲をみてみた。

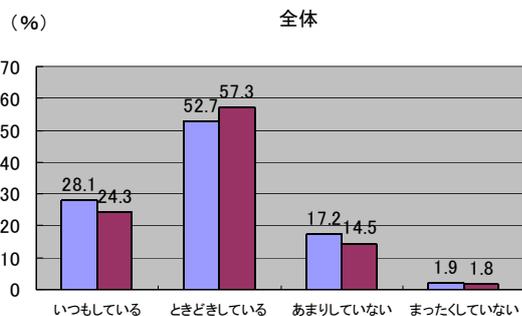
(1) 自己評価

Q⑰自主性（自分で判断し、行動する）

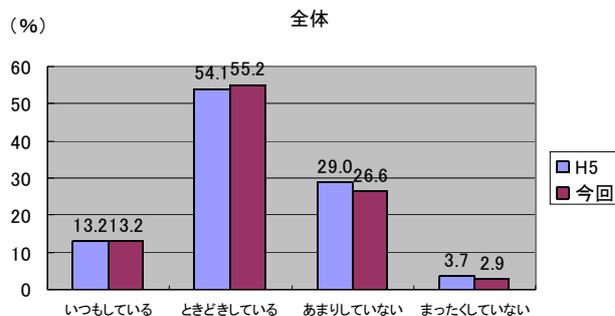
前回と今回では大きな変化はみられない。「いつもしている」が3.8ポイント減少し、「ときどきしている」が4.6ポイント増加している程度である。

学年別では「いつもしている」が学年が進むにつれて微増しており、「あまりしていない」は微減している。

あなたは、自分で判断し行動しようとしているか。



あなたは、自分から進んで物事に取り組もうとしていますか



Q⑱積極性（進んで物事に取り組む）

前回と今回では大きな変化はみられない。

学年別では「いつもしている」が1年生で11.9%に対して3年生で15.5%、「あまりしていない」が1年生で27.2%に対して3年生で23.2%である。男女別では「いつもしている」が男子で11.2%に対して女子で15.1%、「あまりしていない」が男子で29.8%に対して女子で23.6%である。傾向としては、学年が進むにつれて積極的態様がみられ男子よりも女子に積極的態様がみられる。

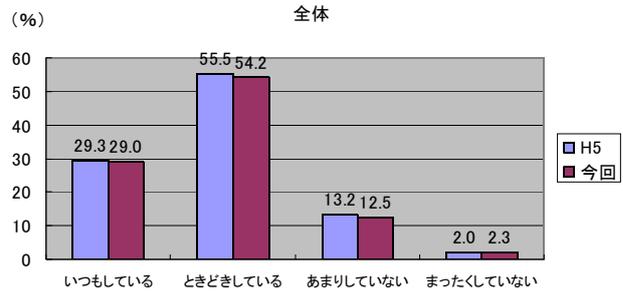
Q⑱ 忍耐力（がまんすべき時はがまんする）

前回と今回では大きな変化はみられない。

学年別では1年生・2年生に大きな違い

はない。「いつもしている」が3年生で34.5%と2年生の25.8%に対して8.7ポイント高くなっている。3年生になると耐性の発達がみられるといえるし、あるいはプレッシャーが増加しているためとも受け取れる。男女別では大きな違いはみられない。

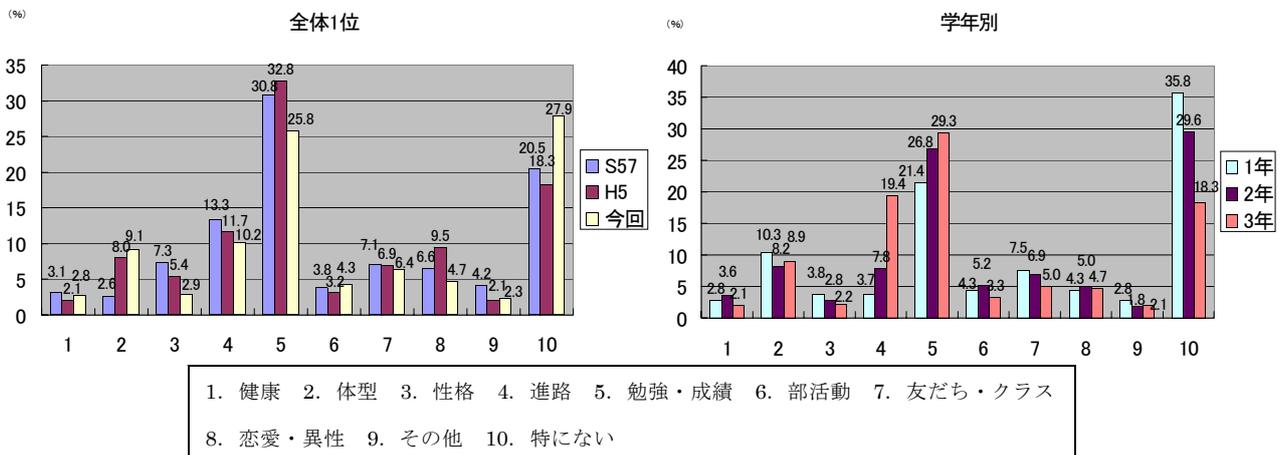
あなたは、がまんすべき時はがまんしようとしていますか。



(2) 悩み・困惑

Q⑳ 悩み・困惑

あなたが、今もっとも悩んでいること、困っていることを選んでください。



1. 健康
2. 体型
3. 性格
4. 進路
5. 勉強・成績
6. 部活動
7. 友だち・クラス
8. 恋愛・異性
9. その他
10. 特にな

今最も悩んでいること、困っていることについて、それぞれの項に順位をつけてもらった。その中で、各回の調査共に「勉強・成績」が高い割合を占めている点で共通している。前回と異なる点は、今回「特にな」が第1位を占めている点である。

最も悩んでいる項目の中で、今回は「勉強・成績」が25.8%で前回より7ポイント減少し、「進路」では微減している。

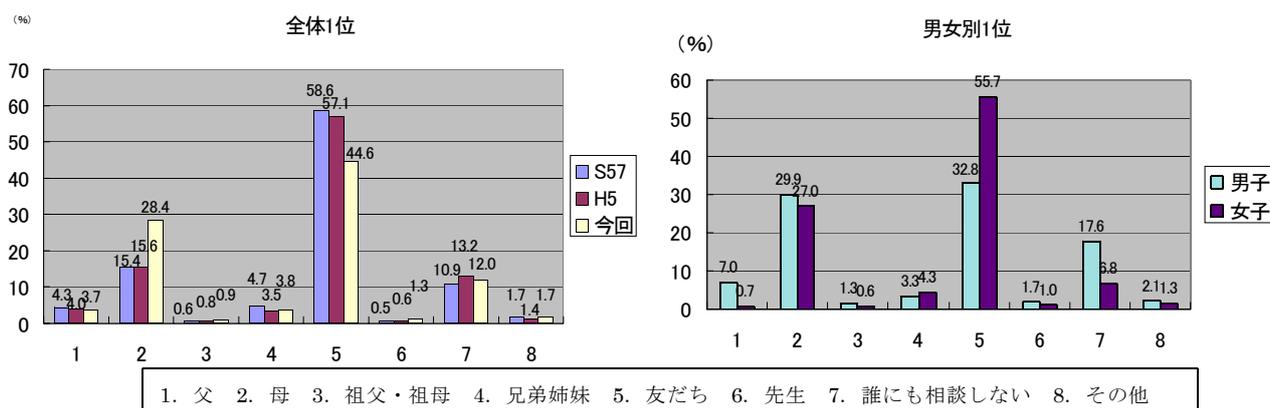
学年別では「進路」が1年生で3.7%、2年生で7.8%、3年生で19.4%と増大し、「勉強・成績」においても1年生で21.4%、2年生で26.8%、3年生で29.3%と増大している。「特にな」は1年生で35.8%、2年生で29.6%、3年生で18.3%と学年が進むにつれて激減している。

選択順位の第2位の項では「勉強・成績」が17.6%で前回より10ポイント減少し、「進路」が10.6%で6.3ポイント減少している。「特にな」は10.7%である。

学年別では第1位の項と同様の傾向にある。「特にな」が男子で31.4%、女子で24.7%である。第2位も同様の傾向にあるが「勉強・成績」が男子で15.3%、女子で19.7%と開きがみられる。

Q21相談相手

あなたは、困っていることや悩みを誰に相談しますか。



悩みを誰に相談するかの順位で、第1位の項では各回の調査共に「友だち」「母」「誰にも相談しない」の順で変わりはない。今回「友だち」が44.6%で12.5ポイント前回より減少している。一方「母」が28.4%で前回より12.8ポイント増加している。

第2位の項では「母」「友だち」「誰にも相談しない」の順である。前回とは「友だち」「誰にも相談しない」の順位が逆転している。いずれについても、前回に比べ割合が減少している。中でも「誰にも相談しない」は前回の22.6%から今回の10.9%と大きく減少している。「父」は今回8.9%と微増している。

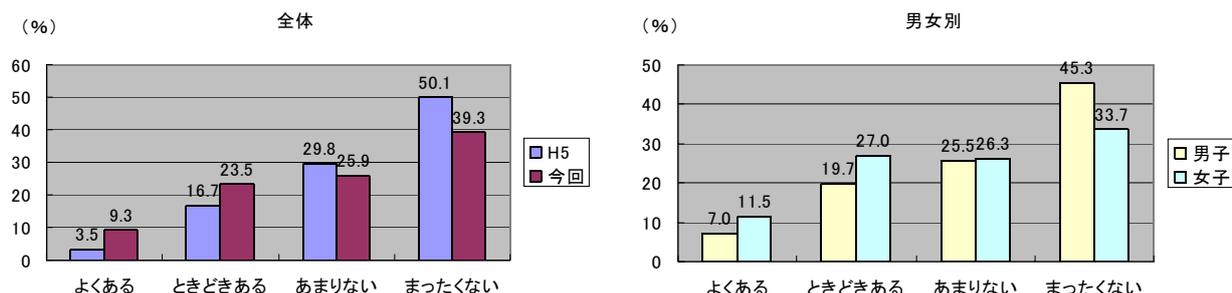
男女別では第1位の項の「父」が男子で7.0%に対して女子で0.7%、「友だち」が男子で32.8%に対して女子で55.7%、「誰にも相談しない」が男子で17.6%に対して女子で6.8%と開きがある。女子は男子よりも友だちに相談する傾向が強い。「誰にも相談しない」男子は休日の家での過ごし方とのクロス集計で「ファミコンで遊ぶ」と答えた中学生が最も多い。第2位の項では「父」が男子で13.2%に対して女子で4.8%、「母」が男子で17.3%に対して女子で29.4%と同姓の親により多く相談する傾向にある。

Q22学校に行きたくない意識

「よくある」「ときどきある」を合わせて前回の20.2%から今回の32.8%と12.6ポイント増加し、「あまりない」「まったくない」を合わせて前回の79.9%から今回の65.2%と14.7ポイント減少している。

学年別では「よくある」が学年が進むにつれて微増し、「まったくない」は学年が進むにつれて減少している。男女別では「よくある」が男子で7.0%に対して女子で11.5%であり、「ときどきある」が男子で19.7%に対して女子で27.0%である。男子より女子が学校に行きたくないと思う割合が高い。「まったくない」は男子で45.3%に対して女子で33.7%とここでも同様の傾向にある。

あなたは、最近「明日からもう学校に行きたくない」と思うことがありますか。



まとめ

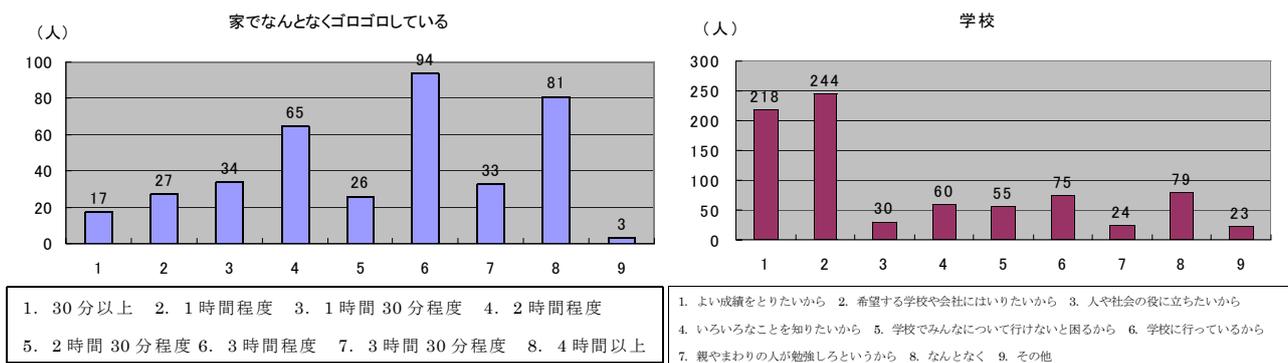
楽しいと感じる場所として「学校」をあげる中学生は大幅に減りつつけている。一方で「学校に行きたくないと思う」中学生は増加傾向にある。

男女別では「学校」を楽しいと感じる女子が多い反面、「学校に行きたくないと思う」女子は男子よりも多い。

「楽しいと感じる場所」と「勉強の目的」「親友」「決められた仕事」「異性への関心」をクロス集計してみると、楽しいと感じる場所に「学校」をあげる中学生は次のような傾向がある。「希望する学校・会社に行きたい」「いい成績を取りたい」と強く思い、親友が「いつもいる」、学校では決められた仕事に「まじめに責任を持ってする」異性への関心が「まあまあある」中学生である。

「休日の過ごし方」と「テレビの視聴時間」「自己決定」「積極性」「学校に行きたくない意識」をクロス集計してみると、第1位の「家でゴロゴロ」している中学生は次のような傾向がある。テレビの視聴時間は3時間が一番多く、次いで4時間以上が多い。また、自分で判断し行動することが「ときどきあり」、進んで物事に取り組むことが「ときどきあり」、明日から学校に行きたくないと思うことが「まったくない」「あまりない」中学生である。「家でゴロゴロ」している中学生は語感だけで消極的な傾向にあると即断することは避けたい。また、休日の過ごし方で急増している「その他」を選んだ中学生のテレビ視聴時間は3時間が一番多く、次いで4時間以上が多い。

「今最も悩んでいること、困っていること」の第1位「進路」の学年別では2年生で7.8%が3年生で19.4%と急増している反面、「特にない」は、2年生で29.6%が3年生で18.3%と激減している。進路に関する話題や指導が1年生から3年生まで計画的・断続的に行われる必要を示唆している。そして、第1位の項の相談相手「友だち」の優位は変わらないものの減少傾向にあり、反面「母」の増加が目立つ「傾向の変化」がみられることに留意しておきたい。



※左のグラフは中学生2,222名のうち、Q⑭休日の過ごし方の第1位「家でゴロゴロ」を選んだ中学生とQ⑫テレビ視聴時間のクロス集計である。

※右のグラフは中学生2,222名のうち、Q⑬楽しい場所の第1位「学校」を選んだ中学生とQ①勉強の目的のクロスの結果である。

第3章 父親・母親の養育態度・行動の実態

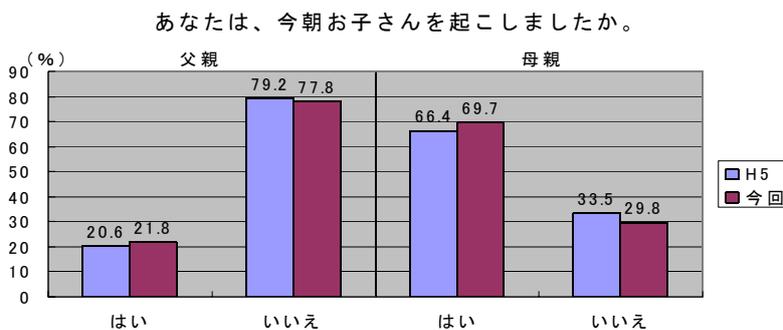
この章では、中学生の親の養育態度や行動について、家庭生活、親子交流、子どもの評価、養育意識の4つの面から考察する。

1 家庭生活

(1) 基本的生活習慣

基本的生活習慣は、中学生ではほぼ完成しているはずである。ただ自立に関するしつけはこの時期に仕上げを迎えているので、その片鱗を探ってみる。

Q①起床



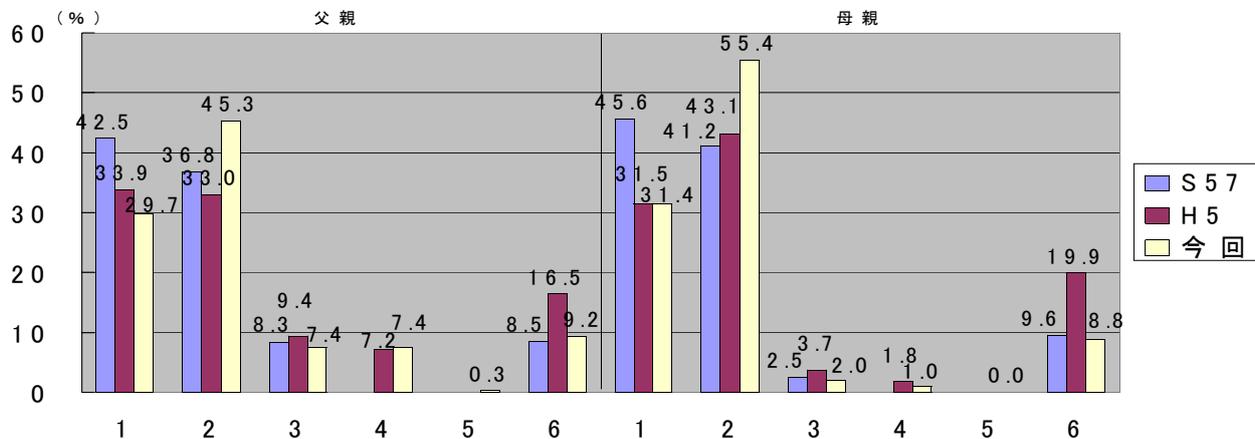
初回については質問の仕方が違うためグラフには取り入れていない。

「朝、子どもを起こしている」父親は21.8%、母親は69.7%であり、前回、今回とわずかに増加しつつあるが大きくは変わっていない。この朝の風景は「小学生の親の調査」ともつながって、現在の家庭における生活リズムとしてすっかり定着しており、過保護であるかもしれないという再認識は難しいようである。

男女別では父親が男子に対して25.8%、女子に18.0%、母親は男子に73.7%、女子に66.2%の割合で起こしている。父親母親共に男子に多く関わっている。この数字も前回から変わっていない。将来や人生の話をしたり学校生活の話をする父親の方が子どもを朝起こす割合が高くなっている。朝起こすという関わりは父親にとって子どもとのふれあいになっているのではないかと。母親ではこのような傾向は現れていない。かわりによその子どもとの比較を意識している母親は起こす傾向が強いようである。

Q②校則違反

あなたは、お子さんが校則に違反した服装や髪型をしている場合、どのように対応をしていますか。



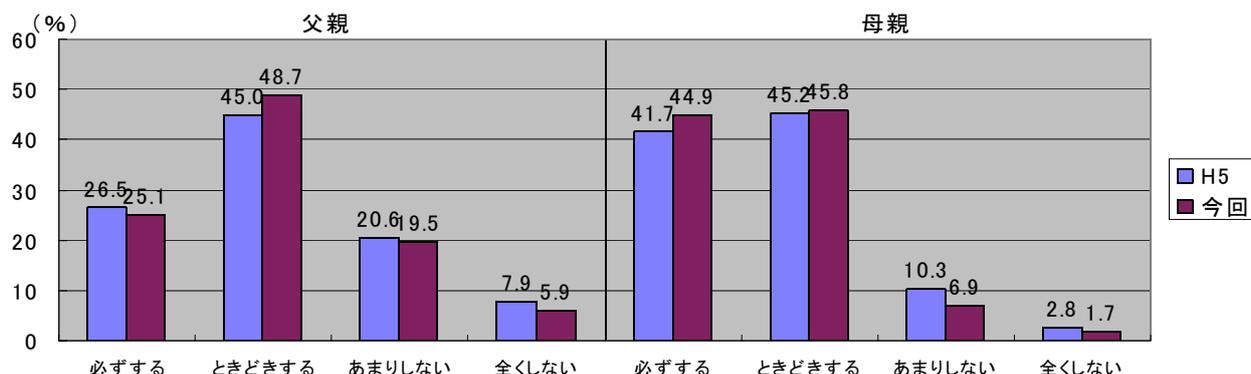
1. きびしくしかる 2. おだやかに注意する 3. 特に何も言わない 4. 母親(妻)父親(夫)に任せる
5. その他の家族に任せる 6. その他

子どもが校則に違反した服装や髪型をしたとき「きびしくしかる」父親は29.7%で、初回、前回、今回とかなり減少している。反対に「おだやかに注意する」が増加している。母親が「きびしくしかる」は31.4%で父親と同程度であり、初回に比べ減少しているが前回とは変化していない。「おだやかに注意する」母親は回を追うごとに55.4%まで増加している。父親母親共にきびしさからおだやかな注意に移行していることが特徴である。

父親母親共に男女別、学年別の違いは大きくない。

Q③宿題・手伝い忘れ

あなたは、お子さんが宿題や手伝いを忘れていたら注意しますか。



宿題や手伝いを子どもが忘れたときに「注意する」父親は73.8%、母親は90.7%である。父親と母親の違いは「必ずする」の差であり、母親の方が子どもをよく見てよく注意していることを示している。全体として前回に比べ大きな変化は見られない。

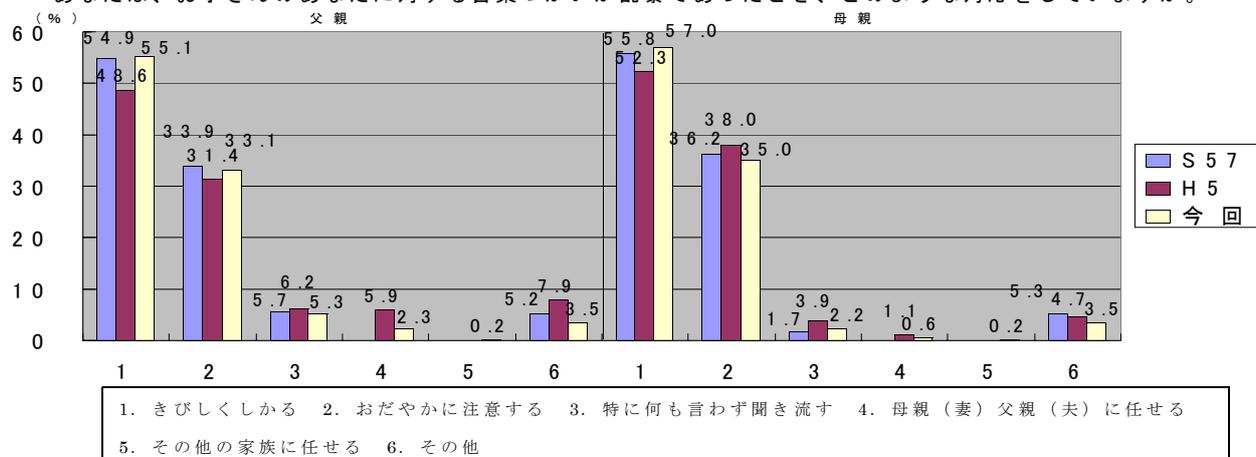
学年別では母親は前回と同様に1年生に「必ずする」が50.8%と高くなっている。また、前回に比べ母親で男子に「必ずする」も5ポイントほど高くなっている。

(2) 言葉づかい

しつけができていないと思う子どもはどんな子どもかという調査で、1位になったのは言葉づかいのなっていない子どもであった。敬語に限らず言葉づかいは人間性を色濃く表す。言葉づかいをしつけることは最も重要なしつけの一つである。

Q④親への言葉

あなたは、お子さんのあなたに対する言葉づかいが乱暴であったとき、どのような対応をしていますか。



- 1. きびしくしかる
- 2. おだやかに注意する
- 3. 特に何も言わず聞き流す
- 4. 母親(妻)父親(夫)に任せる
- 5. その他の家族に任せる
- 6. その他

親への言葉づかいが乱暴であるとき、「きびしくしかる」父親は55.1%、母親は57.0%で違いはない。自分で注意する親は9割であり、社会性の基盤である言葉づかいへのしつけに対する関心は高い。

前回と同様に、学年が進むにつれ「きびしくしかる」割合が減少している。男女別では

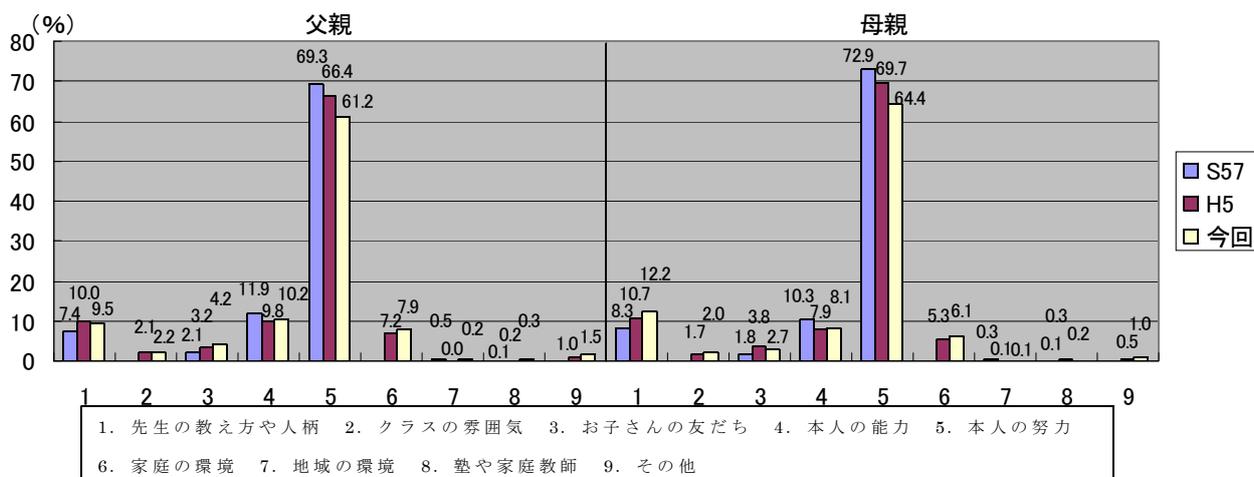
父親は男子に59.2%、女子に51.3%と男子にきびしく、母親は男子に55.2%、女子に58.7%と女子にきびしくなっている。男らしさ女らしさをしつけていると思っている父親母親ほど言葉づかいについてきびしくしかっており、そうでない親はおだやかに注意する傾向が強く現れている。また、子どもを殴りたいと思うこともある父親母親がきびしくしかり、そうでない親はおだやかに注意している。

(3) 学習

学習は中学生時期の親子の関心事であるが、その学習の成果が成績である。ただ成績は様々な場での経験の集積であると同時に、本人の能力開発状態と課せられる学習とのマッチングにも大きく左右される。親はどう見ているのであろうか。

Q⑤成績の影響要因

あなたは、お子さんの成績に最も影響するものは次のどれだと思いますか。



子どもの成績に影響する要因について、「本人の努力」を父親が61.2%、母親が64.4%と共に1位にあげている。ただ初回、前回に比べて減少がみられ、かわりに「先生の教え方や人柄」や「家庭の環境」の割合が少しながら増加しているのが特徴である。成績が努力に左右されるという思いは、成績が上がらないのは努力が足りないからと子どもを単純に叱咤激励することにつながりかねない。

学年別、男女別の違いはあまりない。

まとめ

家庭生活における親の養育態度は、基本的に昭和55年からほとんど変化していない。ただ内容的にしつけ方がソフトになっている。起床や宿題・手伝いの設問で見られるように毎日の生活リズムに対する養育においては、父親より母親の方が主体的に関わっている。また、親の方に成績は本人の努力次第という考え方にわずかではあるが抑制を働かせつつあることは、子どもの家庭生活にゆとりが生まれる兆候として考えられよう。

2 親子交流

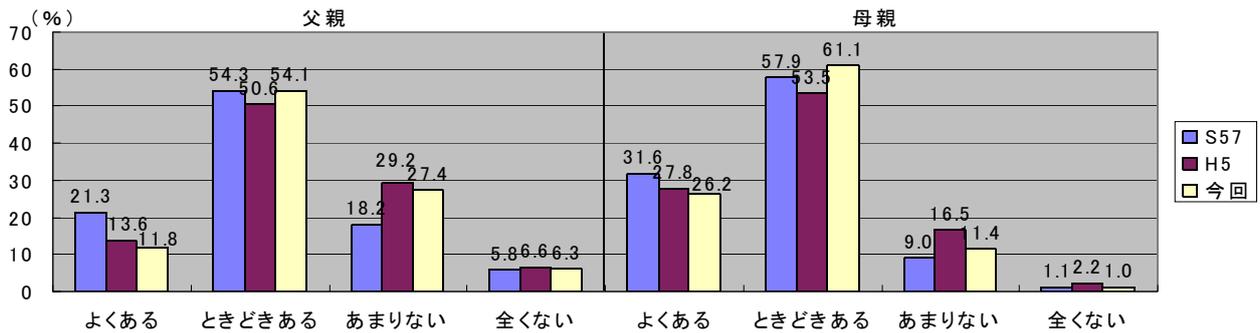
子どもが中学生になると小学生の時とは違った交流の仕方が必要になる。大人としてのつきあいに移行していく時期である。

(1) 日常対話

中学生時期は否応なく将来を考えさせられる時期であり、分からないことからくる不安も高まる。親は社会人の先輩として最も身近で信頼される存在のはずである。

Q⑥将来・人生の話

あなたは、お子さんと、お子さんの将来や人生のことについて話すことがありますか。



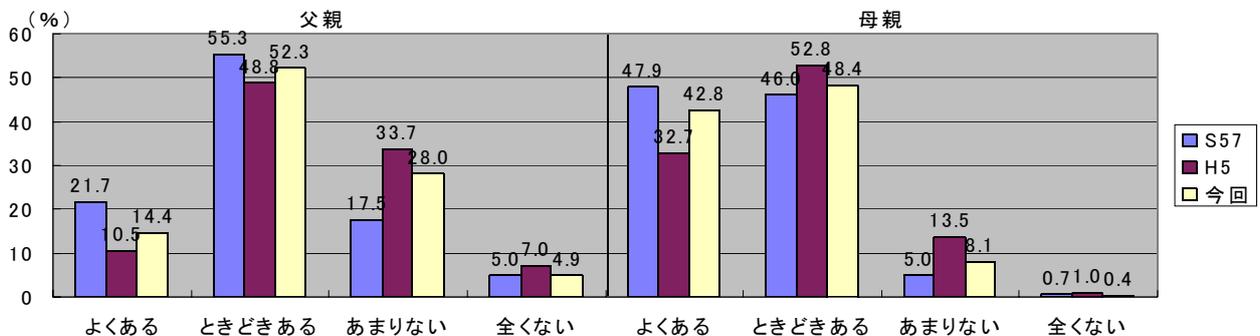
子どもと「将来や人生の話をしている」父親は65.9%で前回と同じ程度、母親は87.3%で前回より増加している。ただ「よくある」割合は父親母親共に初回、前回、今回と減少してきている。

また、「話している」割合は学年と共に増加しており、男女別では父親が男子と68.8%、女子と63.2%で男子の方と、母親は男子と85.2%、女子と89.1%で女子の方と話す傾向が見受けられる。

「中学生調査」で「将来や人生の話をしている」とした中学生は父親とは42.4%、母親とは67.4%であり、子どもの方が20ポイントほど低くなっている。この差は前回でも現れている。親子の会話で意識がずれていることを示す数字として注目すべきである。子どもをよくほめている父親母親は子どもと将来の話をよくしている。気持ちにゆとりがあれば目先のことではなく、将来に目を向けることができるためであろう。

Q⑦学校生活の話

あなたは、お子さんとお子さんの学校生活について話すことがありますか。



子どもと「学校生活の話をしている」父親は66.7%、母親は91.2%であり、それぞれ初回に比べると少ないが前回より増加してきている。

学年別では前回同様学年と共に減少してきている。また、「将来・人生の話」と同様に父親は男子と、母親は女子と話す傾向がある。

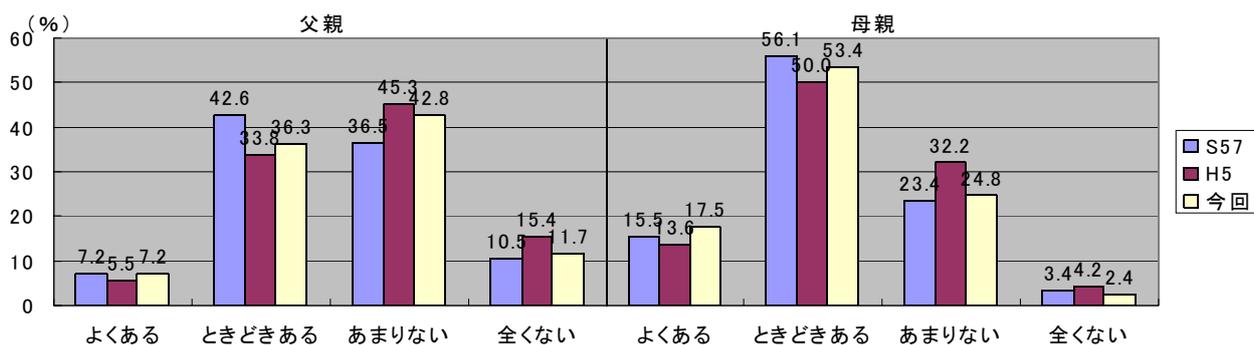
「中学生調査」で「学校生活の話をしている」とした中学生は父親とは48.6%、母親とは78.3%であり、親子での違いは父親で18.1ポイント、母親で12.9ポイントと母親の方が少ない。

(2) 親子交流

親子の交流は子どもにとって常に親子というタテ関係があることを前提としている。そこに子どもは自分の存在をありのままのに認めてくれる先輩としての温かいまなざしを期待しているはずである。親はそのことに気づいているだろうか。

Q⑧ 家庭への意見・相談

あなたは、お子さんに家庭のことで意見を聞いたり、相談をしたりすることがありますか。

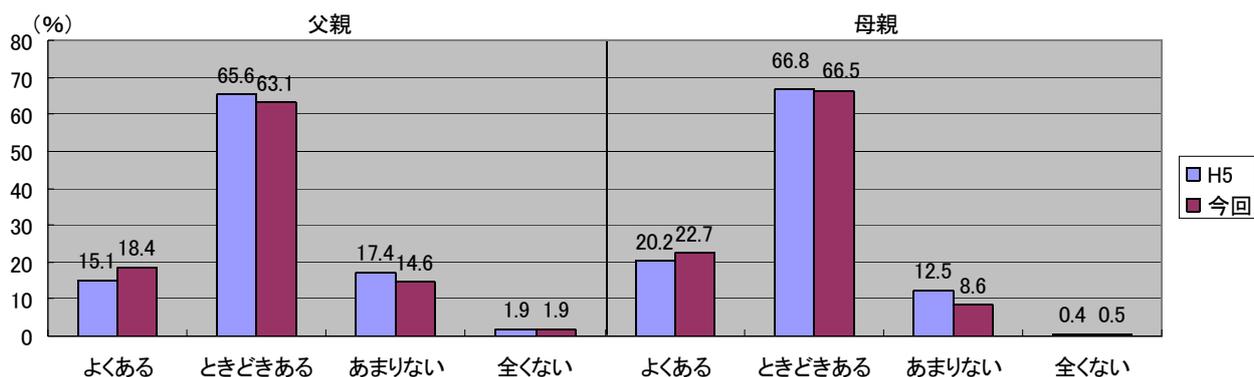


子どもに「家庭のことで意見を聞いたり、相談をする」父親は43.5%、母親は70.9%であり、母親の方が多い。日常対話の傾向と同じで、父親母親共に初回より少ないが前回より増加している。

男女別では父親は男子に「ときどき」意見を聞いたり、相談したりし、母親は女子に「よく」意見を聞いたり、相談したりしている。子どもをほめてやり、また、しつけに自信がある父親母親ほど子どもに家への意見や相談をする傾向が現れている。

Q⑨ ほめる

あなたは、お子さんをほめてやることがありますか。



子どもを「ほめている」父親は81.5%、母親は89.2%であり、十分ではないにしてもほめようとしている傾向がうかがえる。

男女別や学年別ではあまり大きな違いはない。校則に違反した服装や髪型を注意する父親母親は、同時に子どもをほめることもできている。メリハリの利いたしつけがうかがえる。さらに、しつけの自信を持っている父親母親の方が子どもをほめることができている。

まとめ

親子の交流は子どもの気持ちをくみ取る大事な場であることのみならず、子どもの居場所を確保する役割を持っている。親が話を聞いてくれたり、自分のことを心配して話してくれているという実感を得ることができれば、迷いや不安に陥りやすい中学生にとって大きな支えになる。その意味で、将来や人生について話を「よくする」割合が父親母親共に減少している傾向は問題である。親の体験に基づく話が子どもには説得力を発揮するものであるが、父親が男子と、母親が女子と話そうとしていることはごく自然な流れであろう。ただ子どもには将来や人生の話をしていると思われていないことがあるようであるが、それは子どもが実感していないだけであまり気にする必要はないであろう。

「子どもはほめて育てよ」といわれるが、調査結果を見ると総じて実行されていると思われるものの、その頻度において少ないと判断せざるを得ない。親は子どもの至らないところはすぐに気づくが、よい点についてはできて当たり前という厳しい評価を下しやすい。ほめようという心がけを持つ必要性を親に気づかせるような啓発機会が望まれる。

3 子どもの評価

(1) 子どもの生活

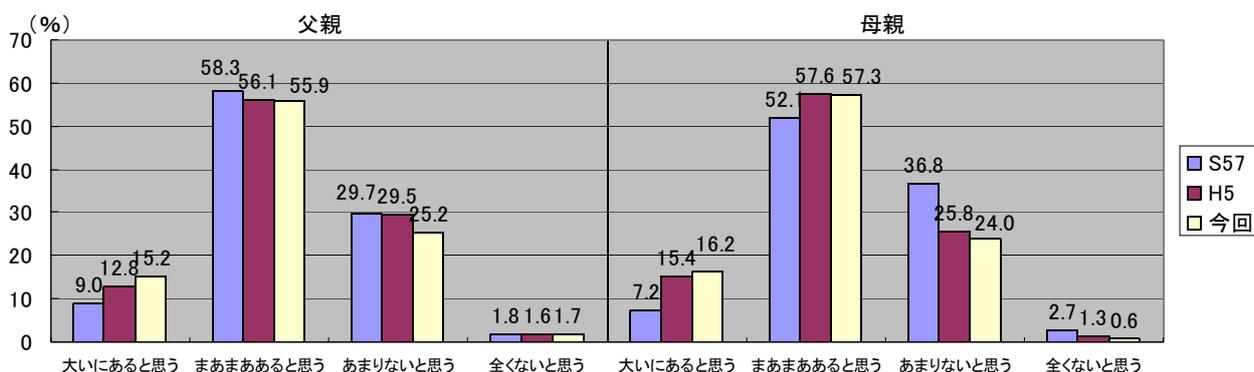
Q⑩ 自主性

子どもに「自主性がある」としている父親は71.1%、母親は73.5%であり、父親母親であまり違いは見られない。初回、前回と比べ「大いにある」が漸増傾向であり、自主性を明確に示す子どもがある一定の割合でいることがうかがえる。親が「大いにある」と認めている場合、子ども自身も「大いにある」と思っている割合が高い。

男女別では父親が男子で68.1%、女子で73.9%、母親が男子で68.1%、女子で78.1%と共に女子に自主性があるとする傾向がある。学年別では違いはみられない。

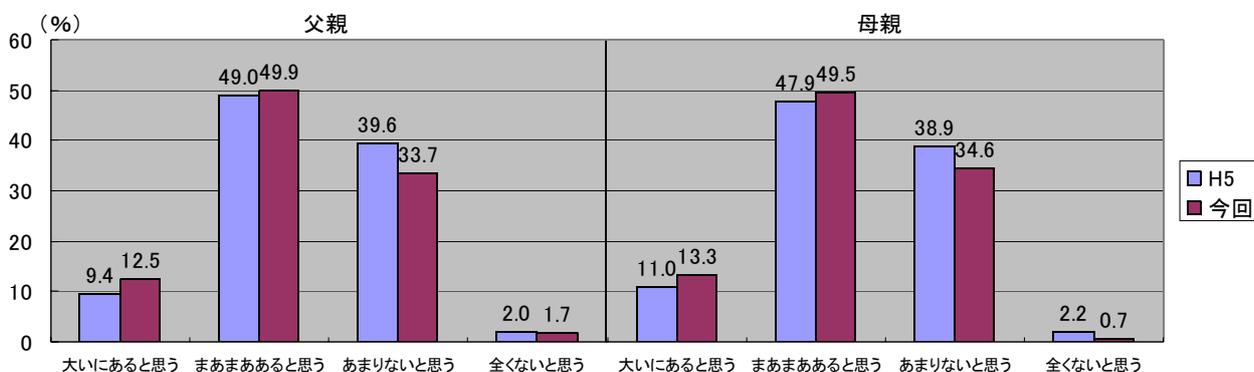
「中学生調査」で「自分で判断し行動しようとしている」とした中学生は81.6%で、子どもは親よりも自主性が自分ではあると判断しているようであり、自分自身の自主性を親にもっと認めてもらいたいと思っている子どもの存在がうかがえる。親は子どもの自主性を評価し、子どもの視点に立って見守っていくことが求められる。

あなたは、お子さんに自主性（自分で判断し行動する）があると思いますか。



Q⑪ 積極性

あなたは、お子さんに積極性（自分から進んで物事に取り組む）があると思いますか。



子どもに「積極性がある」としている父親は62.4%、母親は62.8%であり、父親母親であまり違いは見られない。自主性に比べ「ある」とするが約10ポイント低くなっている。

自分で判断し、行動するが、自ら進んで取り組む姿は自主性に比べ低いようである。前回と比べ「ある」が増加傾向であり、自主性と共に積極性があると子どもを認める親がある一定の割合でいることがうかがえる。

男女別では父親が男子で59.4%、女子で65.1%、母親が男子で57.5%、女子で67.5%と共に女子に積極性があるとする違いがみられる。学年別では違いはみられない。

「中学生調査」で「自分から進んで物事に取り組んでいる」とした中学生は68.4%であり、子どもは親よりも積極性が自分ではあると判断しているようである。

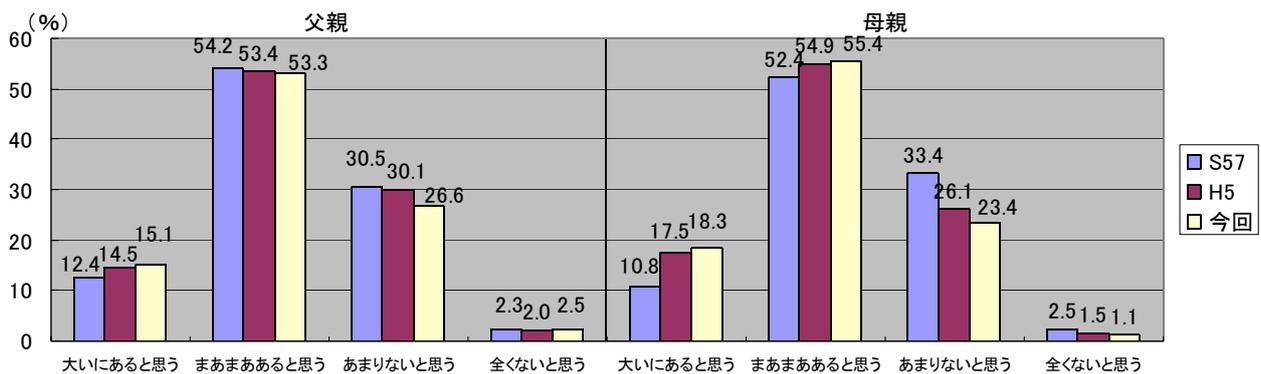
Q⑫ 忍耐力

子どもに「忍耐力がある」としている父親は68.4%、母親は73.7%であり、母親が忍耐力を認める割合が若干高い。初回、前回と比べ「ある」が漸増傾向であるが、自主性や積極性と関わらせながら忍耐力を向上させていくことが求められる。

男女別では父親では違いはみられないが、母親は男子で71.0%、女子で76.2%と女子に忍耐力があるとする傾向がある。学年別では違いはみられない。

「中学生調査」で「がまんすべき時はがまんしている」とした中学生は83.2%であり、子どもは親よりも忍耐力が自分では若干あると判断しているようである。しかし、がまんしているといっても「ときどき」がその約3分の2であり、がまんすべき時にときどきしかがまんできていないともいえる。

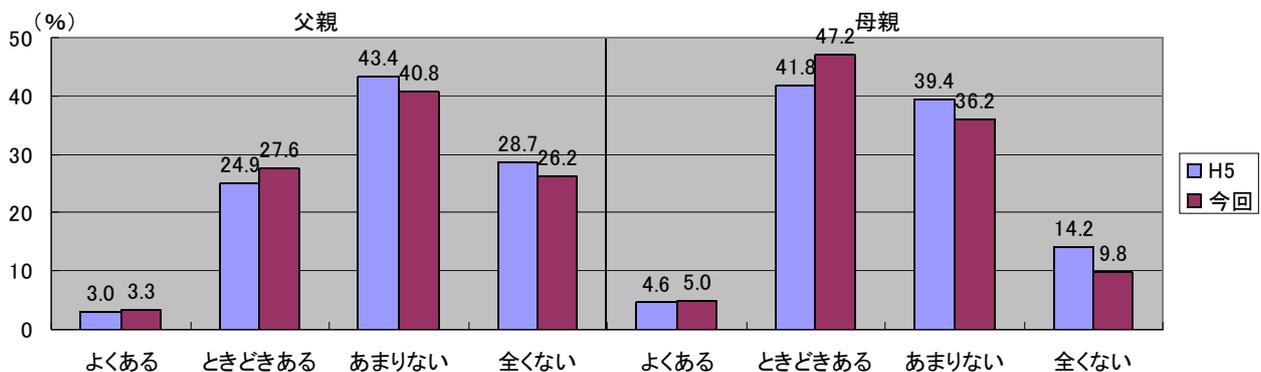
あなたは、お子さんに忍耐力（がまんすべき時はがまんする）があると思いますか。



(2) 接し方

Q⑬ 他の子との比較

あなたは、お子さんを兄弟姉妹やよその子を引き合いに出して、注意したりしかったりすることがありますか。



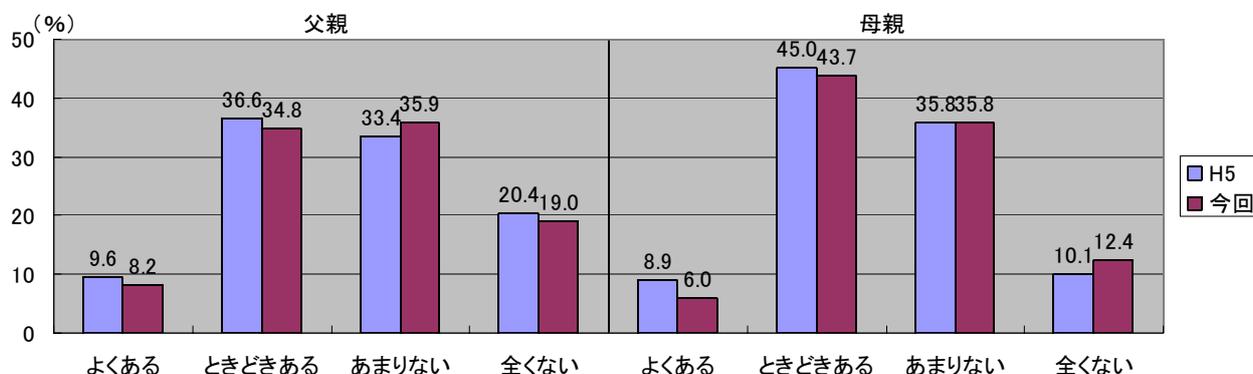
子どもを「兄弟姉妹等と比較して注意する」としている父親は30.9%、母親は52.2%であり、母親の方が約20ポイント高い。これは母親の方が注意する回数が多いこともあろう。

前回と比べ「比較して注意する」が漸増傾向であるが、一般に比較して注意されることには抵抗を感じる子どもが多いことも考えておく必要があり、他者との比較ではなく子ども自身の成長や発達を親は理解しながら叱ることが求められる。

学年別、男女別の違いはあまりない。

Q⑭男女別の注意

あなたは、お子さんを「男の子だから、女の子だから」といって注意することがありますか。

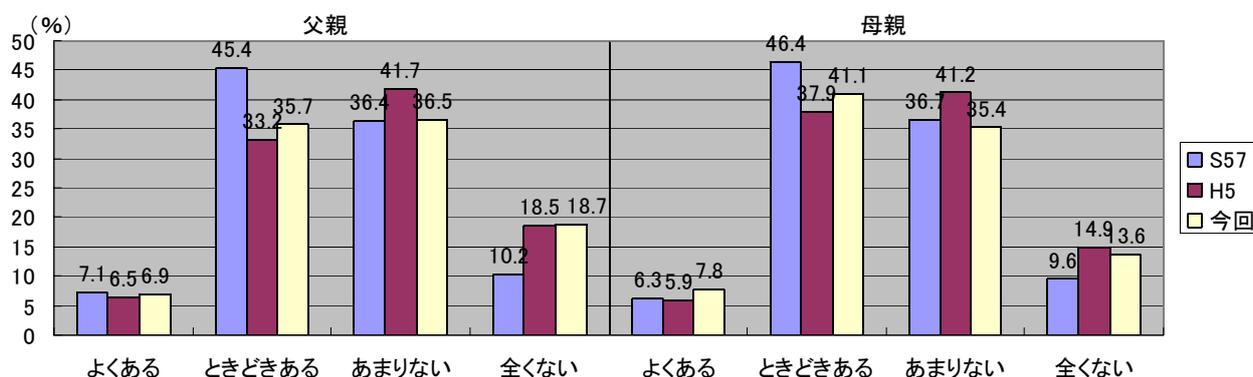


「男の子だから、女の子だからと注意する」としている父親は43.0%、母親は49.7%であり、母親の方が6.7ポイント高い。一般に「男の子だから、女の子だからと注意する」ことは性別の役割分担意識を固定化させるといわれ、意識無意識に男性・女性といった性差別を生み出すことにも成りかねないことも考えておく必要がある。前回と比べ「男女別に注意する」が漸減傾向であるが、現在も半数近くの親は男女別に注意することがあるようで、男女別ではなく一人の人間としてどう注意していくのかを親は理解することが求められる。

男女別では父親が男子に38.3%、女子に47.5%、母親が男子に42.4%、女子に56.0%と共に女子に対してが高いが、特に母親の女子に対する性別の注意が著しい傾向にある。学年別では違いはみられない。

Q⑮殴りたい

あなたは、お子さんに対して腹が立ち、殴りたいと思ったことがありますか。



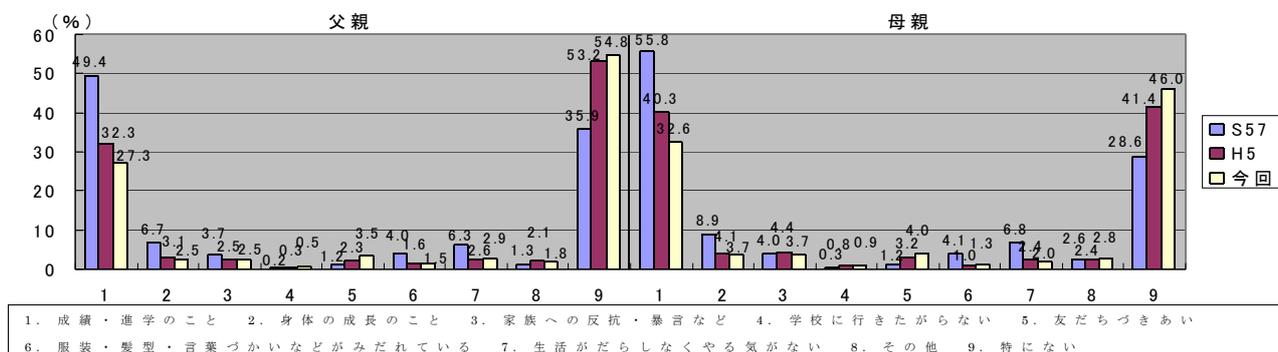
子どもを「腹が立ち、殴りたいと思ったことがある」父親は42.6%、母親は48.9%であり、母親の方が6.3ポイント高い。これは母親の方が子どもと関わる時間が長いと共に、より密接に関わっていることもあろう。初回、前回と比べあまり違いはなく、半数近くの親が殴りたいと思うことがあるようで、殴りたい原因を解消していくことが必要である。体罰ではなく、共に考え言葉でどう注意していくのかを親は学習することが求められる。

学年別、男女別の違いはあまりない。

(3) 悩み

Q⑯子どもの悩み

あなたは、現在お子さんについて困っていること、悩んでいることがありますか。



子どもについて「困っていること、悩んでいること」で最も割合が高いのは「成績・進学」で父親が27.3%、母親が32.6%である。第2位「友だちづきあい」の父親で3.5%、母親で4.0%に比べかなり高くなっており、中学生の親の場合、成績・進学で悩んでいることがわかる。しかし、初回、前回に比べ第1位の「成績・進学」も父親母親共にその割合は減少し、初回に比べ父親で22.1ポイント、母親で23.2ポイントの減少である。反対に「特にない」が父親で18.9ポイント、母親で17.4ポイント増加している。悩みの割合が増加したのは「友だちづきあい」と「学校に行きたがらない」の2つであり、いじめや不登校の状況とも関連していることが推測される。「中学生調査」で「悩んでいること、困っていること」の第1位に中学生があげたものは親と同様に「勉強・成績」についてであり、親子共成績に悩んでいるが、親と同様に子どもも「特にない」の割合が増大していることも今回の特徴である。子どもは成績に左右されることは当然のことであり、悩むべき内容ではなくなってきたのかもしれない。

学年別では父親母親共に1年生では「身体の成長」、3年生では「成績・進学」について悩んでいる。また、父親は1年生で「服装・髪型・言葉づかい」、2年生で「生活でのやる気」、母親は1年生で「家族への反抗・暴言」「友だちづきあい」で悩むといった違いがみられる。男女別では父親は男子に「身体の成長」、女子に「家族への反抗・暴言」「友だちづきあい」「服装・髪型・言葉づかい」で悩み、母親も女子の「友だちづきあい」「服装・髪型・言葉づかい」に悩んでいる。

「中学生調査」との関連をみると、親が「友だちづきあい」で悩んでいると子どもも「友だち・クラス」で悩む割合が高いなど全体に重なる傾向はあるが、必ずしも悩みを共有しているとはいえない。また、親が「学校へ行きたがらない」と悩んでいる場合、子どもは「進路」について悩んでいる割合が高くなっており、親子が気軽に相談できる何らかの支援が求められる。

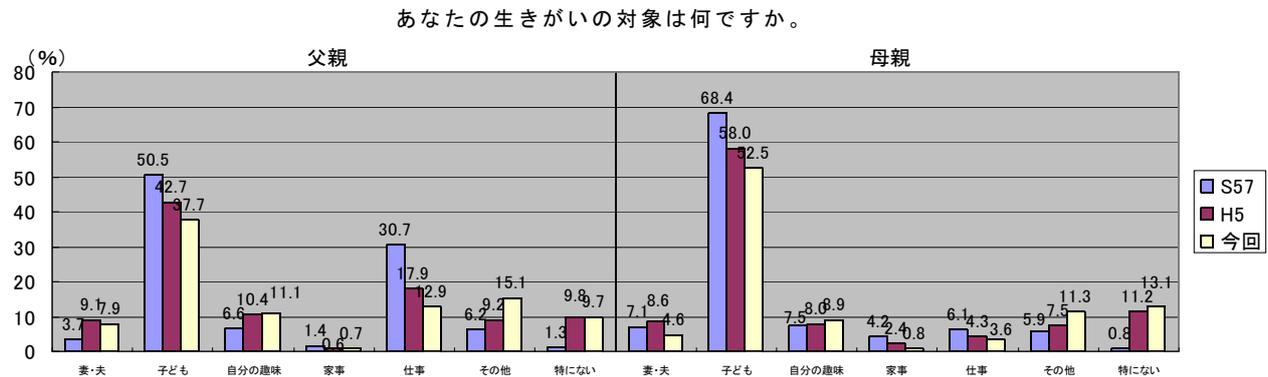
まとめ

「自主性」「積極性」「忍耐力」共に親の評価は全体としては高まっている。しかし、子どものこれらへの自己評価は高まっているとはいえず、親の評価と学校等での評価のギャップの存在が推測される。接し方では男女別の注意が減る一方で兄弟姉妹等と他人との比較は増加の傾向にある。親の悩みでは第1位は相変わらず「成績・進学」であるが、その割合は減少傾向にあり、「友だちづきあい」「学校に行きたがらない」という2項目で増加している。

4 親の意識と養育意識

(1) 親の意識

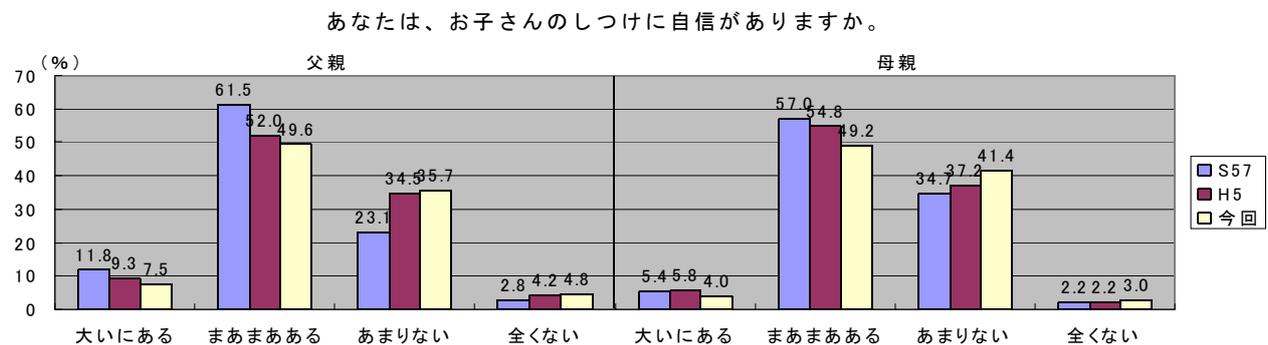
Q⑰生きがいの対象



生きがいの対象で最も割合が高いのは「子ども」で父親が37.7%、母親が52.5%である。初回、前回と比べ父親母親共にその割合は減少し、前回に比べ父親で5.0ポイント、母親で5.5ポイント減少している。反対に「趣味」「その他」が増加し、子どもを生きがいの対象とする親は少なくなっているようである。父親の「仕事」とする割合も低下しており、生活様式や価値観の多様化がみられるといえる。

学年別、男女別の違いはあまりみられない。

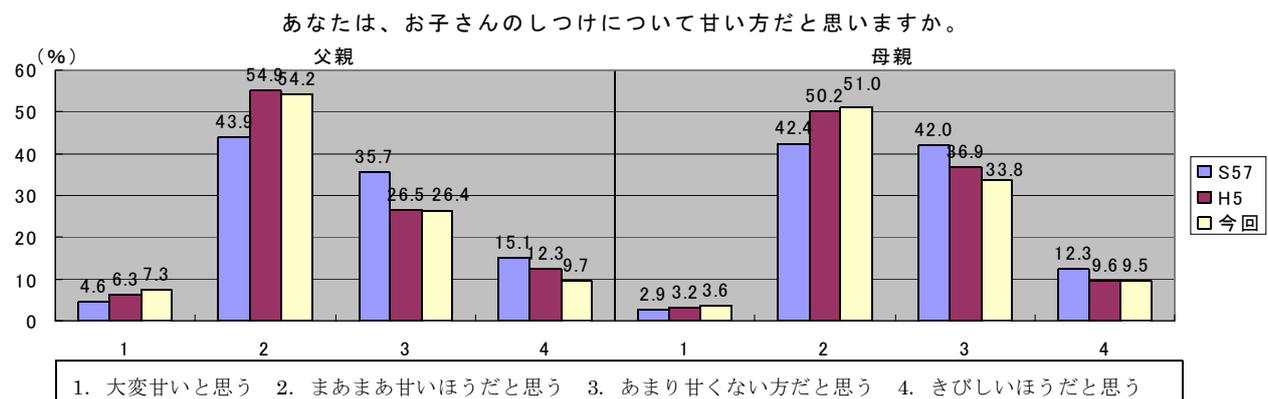
Q⑱しつけの自信



子どもの「しつけに自信がある」父親は57.1%、母親は53.2%であり、父親母親ほぼ同様の結果である。初回、前回と比べ自信がある割合は低減傾向にあり、父親で初回の73.3%から16.2ポイント、母親は62.4%から9.2ポイント低下している。

学年別、男女別の違いはあまりみられない。

Q⑲しつけの甘さ

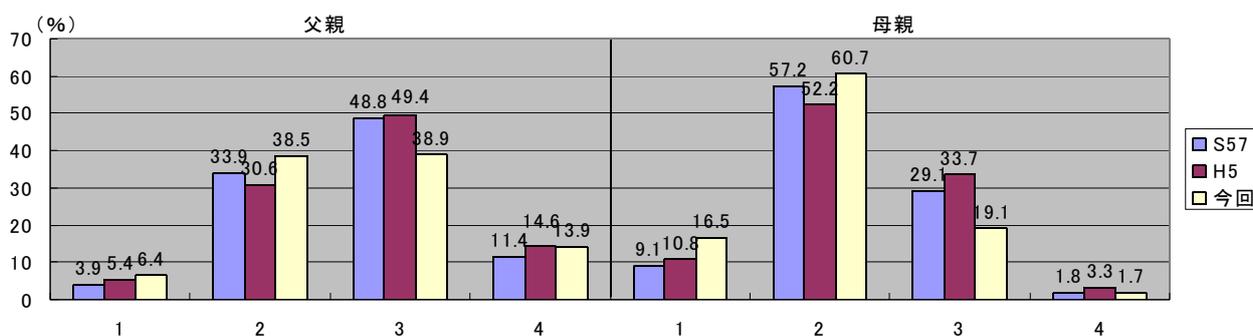


子どもの「しつけに甘い」と思っている父親は61.5%、母親は54.6%であり、父親の方が6.9ポイント高くなっている。初回、前回と比べ甘いと思う割合は増加傾向にあり、父親で初回の48.5%から13.0ポイント、母親では45.3%から9.3ポイント高くなっている。父親母親共に自分自身甘いと思いつけを行っている実態がみえる。

男女別では母親では違いがみられないが父親では男子で59.1%に対して女子では64.8%と父親は女子に若干甘い傾向がみられる。学年別では違いはみられない。

Q⑳世話

あなたは、お子さんの世話をしている方だと思いますか。



1. 大変よくしているほうだと思う 2. まあまあしているほうだと思う 3. あまりしていないほうだと思う 4. ほとんどしていない

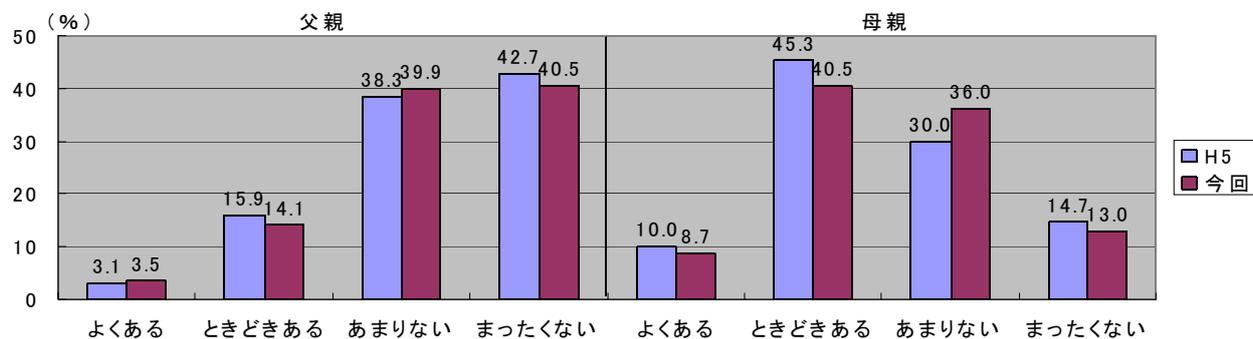
子どもの「世話をしている」と思っている父親は44.9%、母親は77.2%であり、母親の方が32.3ポイント高くなっている。初回、前回と比べ世話をしていると思う割合は増加傾向にあり、父親で初回の37.8%から7.1ポイント、母親では66.3%から10.9ポイント高くなっている。父親母親共に中学生に対して世話をしていると思いつながら関わっている実態がみえる。

男女別では母親では違いが見られないが父親では男子に49.6%世話をしていると思いつているのに対して女子には40.5%しか世話をしていると思いつおらず、父親は女子に比べ男子を世話するといった違いがみられる。学年別での違いはみられない。

(2) 養育態度

Q㉑学習

あなたは、しつけについて本を読んだり、テレビ番組を見たり講演会に行ったりすることがありますか。

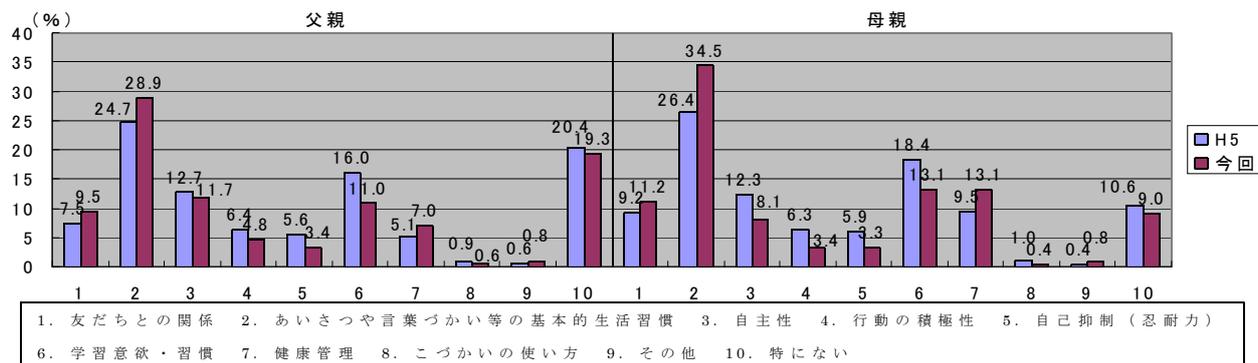


「しつけ」について本、テレビ、講演などでの学習経験が「よくある」「ときどきある」を合わせて、学習している父親は17.6%、母親は49.2%であり、母親の方が31.6ポイント高くなっている。前回に比べ学習している割合は減少傾向にあり、父親では前回の19.0%から1.4ポイント、母親では55.3%から6.1ポイント低くなっている。父親母親共に中学生に対してしつけの自信がなくなる傾向の一方で、学習している割合は低下してきている実態がみえる。

学年別、男女別での違いはあまりみられない。

Q22しつけについての心配り

あなたは、お子さんのしつけについて今どんなことに心を配っていますか。



しつけについて「心を配っている」割合が最も高いのは父親母親共に「あいさつや言葉づかい等の基本的な生活習慣」で父親が28.9%、母親が34.5%ある。第2位の「自主性」「学習意欲・習慣」「健康管理」に比べかなり高くなっており、中学生の親の場合も「基本的な生活習慣」に心を配っている実態がわかる。父親母親共に全体としては同様の傾向であるが、前回と比べ父親母親共に割合が増大している項目は「基本的な生活習慣」「友だちとの関係」「健康管理」「その他」の4つである。しつけが甘いと思う親の割合が増加する一方で「基本的な生活習慣」に心を配る親の割合も増加し、「学校に行きたがらない」「友だちづきあい」に悩む親の増大の一方で「友だちづきあい」について心を配る親が増えている。また、子どもの体力の低下が叫ばれる一方で「健康管理」に心を配る親が増大している。心を配る以前に「基本的な生活習慣」やよりよい「友だちとの関係」が自然に身につく、たくましい体力がつくような生活体験や自然体験などの直接体験を時間をかけて行う必要がある。

学年別では父親では違いがみられないが、母親は1年生で「友だちとの関係」「自己抑制(忍耐力)」「こづかいの使い方」、2年生で「行動の積極性」、3年生で「学習意欲・習慣」で心を配っているといた違いがみられる。男女別では父親母親共に男子に「積極性」「自己抑制」、父親が男子に「学習意欲・習慣」、女子に「基本的な生活習慣」について心を配り、母親は男子に「自主性」、女子に「友だちとの関係」「こづかいの使い方」で心を配っている。

まとめ

親の意識と養育意識について総合的にみると、親が「しつけに自信がある」とことと関連が深いのは子どもの「自主性」「積極性」「忍耐力」を評価し、「世話をしている」「しつけの学習をしている」ことである。特に父親の場合は、子どもの世話をしているかできているか、そしてしつけの学習を実際に行っているかといった現実子どもと共にどう関わられるかで、自信が生まれるかどうかが決まってくる傾向がある。反対に自信が生まれにくいのは一番は「しつけに甘い」と自己評価していることであり、「兄弟姉妹等と比較したり」「男女別に注意したり」「殴りたいと思う」ことが多いとしつけに自信が持ちにくいようである。また、しつけに甘いということ生きがいの対象が子どもというところが重なるところもあり、親自身が自分の自己実現を図っていく生きがいをつくっていくことが今後の課題である。

子どもが「明日からもう学校に行きたくない」かどうかという質問に回答した「学校に

行きたくない意識」と親の意識や養育意識などとの関連をみても、父親母親で共通するのは、学校に行きたくない意識が低い子どもの親の傾向は、子どもの「積極性」「忍耐力」を評価し、「男女別の注意」「他の子との比較」で注意せず、「しつけに甘くなく」「あいさつや言葉づかいなどの基本的生活習慣」に心を配り、しつけについての「学習を行っている」ことである。ただし、「自主性」については「学校に行きたくない」と自己主張できることと重なっているようであり、「自主性」がある場合でも学校に行きたくない意識は低くなっていない。また、父親母親別ではその父親は子どもに「気を使っていたり」「世話をしている」「仕事以外に生きがいがある」親で、母親では「しつけに自信があり」「趣味がある」親である。父親の場合「しつけへの自信」が学校に行きたくない意識と関連がないのは、そこまで関わっていないことがある。子どもの学校に行きたくない意識が高くなっていると母親では「成績・進学」「家族への暴言・反抗」が悩みとして出ているのに対して、父親まではこの悩みが伝わっていないようなのである。初期の段階で親が仕事以外の生きがいや趣味を子どもと体験することが大切である。

プライベート化（個人主義化）の進行と共に親の生きがいの対象が子どもや仕事以外にも広がっていることにもみられるように、全体的には個々の家庭の在り方の多様化がさらに進んできているといえよう。そうした多様化や個人主義化の生活が定着してくる一方で「友だち」関係など他人との人間関係に苦労している親子の姿がみられる。それぞれの家庭が自分の家庭の独自性や他の家庭とのつながりを薄くしていく中で、親は家庭教育の自信をなくしている現状があり、改めて家庭教育における最低限の共通事項は何か、そして孤立化しない家庭の在り方をどう図っていくかが問われ、社会教育における家庭教育への支援・促進におけるネットワーク型の方策が求められる。

第4章 まとめと今後の課題

本事業では昭和57年度及び平成5年度に中学生と親を対象にした家庭教育に関する調査を実施している。今年度3回目の調査を行ったが、この間、家庭を取り巻く情勢は大きく変動し、顕在する問題も多様かつ深刻さの度合いを深めている。この章では中学生を持つ保護者（親）の養育に現れてきている変化の概要を調査結果から抽出し、今後の方向づけをする。

【子育てについて】

中学生が持っている親のイメージは、父親では「尊敬ができる人」が減少し、「指導してくれる人」が増加している。母親では初回の「理解」「尊敬」「口うるさい」の順が、前は「理解」「尊敬」「指導」に、今回は「指導」「尊敬」「理解」に変化している。また、男子では「指導」「理解」「尊敬」の順であるが、女子では「尊敬」「指導」「親しみと理解」の順で違いがみられる。「尊敬」できる父親、「理解」してくれる母親から父親母親共に「いろいろ教え指導してくれる人」へと変化している。将来や人生について父親母親と話している中学生は親を「尊敬」し、そうでない中学生は「口うるさい」「生活費をかさいでくれる」という親のイメージが強くなっている。子どもの可能性を引き出すのは子どもを管理・監督することではなく、子どもの成長・発達を理解しながら子ども自身が自らの可能性を引き出していくよう導くことが大切であり、それが主体的な子育てにつながる。

【居場所について】

親が将来人生の話をしたり、子どもをほめて、殴りたいと思わない家庭では中学生はよ

く手伝いをしている。また、家庭生活を満足できるものとして受け止め、その割合は今回増加している。ところで、学校に行きたくないと思うことがある中学生が男子で前回17.5%から今回26.7%に、女子で前回23.1%から今回38.5%に、いずれも増加している。学校に行きたくないと思う中学生は家庭生活に満足していない中学生であり、親が子どもをほめない、他の子と比較する、話をまったくしない、殴りたくなるという親の養育態度との相関が見られる。中学生の休日の過ごし方の上位二つは、初回の「テレビ」と「音楽やラジオの視聴」が、前は「外でスポーツ」と「家でゴロゴロ」に、今回は「家でゴロゴロ」と「その他」に変化している。子どもが育つために必要な居場所の条件は安全・快適さではなく、親が見守ってくれて安心できる場があることである。

【相談について】

親友がいる割合は初回65.2%、前回78.8%、今回83.2%と着実に増加している。その親友が相談相手になっている割合は男子で32.8%、女子で55.7%と女子の高さが際だっている。「誰にも相談しない」という割合は男子が17.6%に対して女子は6.8%と少ない。相談相手が「友だち」から「母親」に移行しているのが今回調査の特徴の一つである。悩みと相談相手の間には「部活動」や「恋愛」に悩む中学生は「友だち」に、「健康」や「体型」「進路」「友だち」に悩む中学生は「母親」に、学校に行きたくないと思ったり、自分の自主性、積極性、忍耐力に自信のない中学生はそれぞれ「誰にも相談しない」割合が高くなっているという関係がみられる。また、親と将来や人生の話をしている中学生は親に相談し、話していない中学生は誰にも相談をしなくなっている。ところが、子どもと将来や人生の話をよくしている割合は父親母親共に回を重ねるごとに減少してきているし、さらに親と将来や人生・学校生活の話をしていると思っている中学生の割合は、親がしているという割合よりも20ポイントほど少なくなっている。親が話しているつもりでも子どもはそう思っていないギャップがあるという点は心配である。親を「尊敬」している中学生は親に、親を「自分勝手」で「口うるさい」「生活費をかせいでくれる」「放任」していると思っている中学生は「友だち」に相談するか、「誰にも相談しない」かのいずれかに分かれている。親は子どもの特に男子の話を聞くことを普段から心がけておく必要がある。

【しつけについて】

親がしつけの重点にしていることは、父親母親共に1位は「基本的生活習慣」である。父親の2位「特になし」を別にすれば、次は「学習意欲・習慣」である。前回と比べ「学習意欲・習慣」が減少し、「基本的生活習慣」が増加している。自主性、積極性、忍耐力の3つの中では、父親母親共に中学生の積極性の評価が相対的に低かったのだが、しつけでは「自主性」が上位にあげられている。親が殴りたいと思う子どもは言われるから勉強し、掃除当番やクラスで決められた仕事をしない、積極性がみられない、学校に行きたくないと思ったりする、自主性を発揮しない中学生である。確かに中学生自身の評価でも自主的にいつも自分で判断し、行動している男子が前回より2.2ポイント、女子が5.6ポイント減少している。ただ子どもに自主性があると思っている父親は71.1%、母親は73.5%と共に増加している。また、しつけの重点に「友だちとの関係」「健康管理」が前回から増加しているのは注目しておくべきことである。特に子どもに関する悩みにおいて割合は低い唯一増加しているのは「友だちとの関係」であり、社会性を身につける要因の一つが増加していることは危惧すべきことである。

【意欲について】

中学生が勉強する理由として「希望する学校や会社に行きたいから」が減少し、「よい成績をとりたいたから」が増加、「学校でみんなについていけないと困るから」が減少し、「学校に行っているから」が増加している。一方中学生の悩みについては「勉強・成績」「進路」「性格」は減少し、「特にない」が増加している。父親母親と将来や人生の話をしている中学生は「希望する学校や会社に入りたいたから」をあげているが、話をしていない中学生は「学校でみんなについていけないと困るから」と「なんとなく」をあげている。子どもに明日の目標・楽しみを与えることが子どもの生きる気力につながる。関心事についてみると、服装・髪型は前回75.4%から今回67.8%へ減少し、異性についても初回60.2%、前回58.4%、今回55.7%と減少傾向にある。ただ服装・髪型や異性に対する強い関心は女子の方が高い。

【子育てについて】

しつけが甘いと思う親は初回、前回、今回でそれぞれ父親が48.5%、61.2%、61.5%、母親が45.3%、53.4%、54.6%と増加傾向にある。また、世話をしていると思っている父親は前回36.0%、今回44.9%、母親は前回63.0%、今回77.2%と共に増加している。ところが、しつけに自信がある親は初回、前回、今回でそれぞれ父親が73.3%、61.3%、57.1%、母親が62.4%、60.6%、53.2%とかなり減少している。しつけの学習をしている親ほど自信を得ている傾向があるが、実際にはしつけに関する学習をしている父親は17.6%、母親は49.2%と父親の割合の低さが目立っているし、さらに母親についても減少をしている。子育ての基盤は親の自信であることから、親の自信を取り戻す何らかの支援活動が急務である。

甘い親のもとで世話を受け、悩むほどの明確な努力目標を持たず、親の指導に慣らされていることに中学生は自らの自主的な子育てを疑いはじめているのではないか。一方親は子育ての自信を揺るがしながら「指導偏重型養育」をつづけている。親が忙しい中で効率的養育を迫られているためかもしれないが、人を育てるといふことの奥深さをつい見失っている。育ちには子どもに備わったペースがあり、精緻なプロセスがある。子育ては子どもに主体性を持たせることである。そのため、子どもの断片的な育ちだけを見ることなく、子どもの将来を見据えた養育観を持ち、子どもの主体的な育ちを見守っていくことを親に理解させる必要がある。

資料編

平成10年度 家庭教育子育て支援推進事業

中学生及び中学生を持つ保護者に対するアンケート調査実施要項

1. 調査の趣旨

福岡県における中学生の生活の実態とその保護者の養育態度・意識の実態を調査することにより、以下の点を明らかにすることを目的とする。

第一には、中学生は自らの生活をどのように行い、またどのように意識しているかを明らかにすること。

第二には、中学生を持つ保護者の養育態度・意識の実態を明らかにすること。

第三には、子どもの生活の実態を保護者によるしつけとの関連性を探り、望ましい保護者の在り方を具体的に明らかにしていくこと。

さらには、昭和57年度、平成5年度に実施した中学生およびその保護者の調査と比較することで、その経年変化をたどることにより時代とともに変化する保護者の養育態度・行動を明らかにしていき、考察を加えたい。

2. 調査の実施者

福岡県立社会教育総合センター

3. 調査の実施者

県内6中学校の生徒及び保護者

4. 調査の時期

平成10年6～7月

5. 調査校

調 査 校 名	教育事務所 (政令市)	生徒数(学級数)
嘉穂郡穂波町立穂波東中学校	筑豊	371名(11学級)
宗像市立日の里中学校	福岡	556名(15学級)
八女郡星野村立星野中学校	南筑後	123名(5学級)
三潴郡三潴町立三潴中学校	南筑後	626名(17学級)
福岡市立那珂中学校	福岡市	726名(20学級)
北九州市立菅生中学校	北九州市	571名(14学級)
計		2,973名

6. 調査の方法

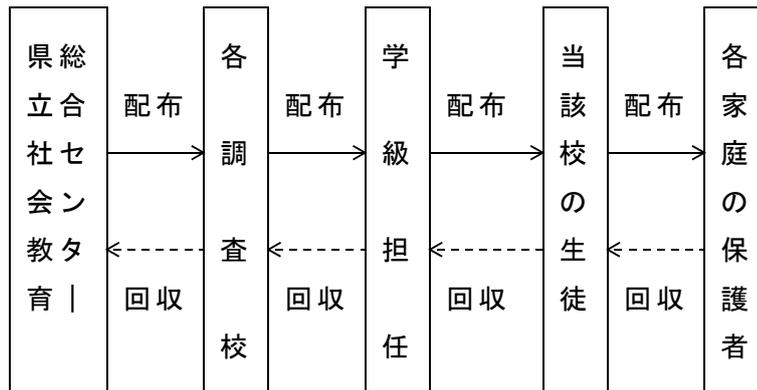
中学生用（オレンジ）、男性の保護者用（グリーン）、女性の保護者用（ピンク）の質問形式の調査票により行う。

（１）調査票の配布

調査票は、県立社会教育総合センターが直接各調査校へ配布し、当該校の生徒を通して生徒及び保護者に配布する。

（２）調査票の回収

調査票は、各家庭の保護者から当該校の生徒を通して各調査校ごとに県立社会教育総合センターが回収する。



7. 調査票

別紙

8. 調査結果の処理

調査結果を、平成10年度家庭教育子育て支援推進事業報告書としてまとめ、関係機関・団体に配布する。

生徒用

アンケートは、返信用封筒に入れて提出ください

生活に関するアンケート

◎記入の仕方についてのお願い

- 各質問に対する答えは、回答項目のうちもっともあてはまるものの番号（1 2 3・・・）を○でかこんでください。また、（ ）の中には番号や必要事項を記入してください。
- 次の欄に答えてください。

あなたの学年	あなたの性別
1. 1年	1. 男
2. 2年	2. 女
3. 3年	

名前を記入する必要はありません

問1. あなたが、ふだん勉強をするのはどうしてですか。もっともあてはまるものを1つえらんで○をつけてください。

- よい成績をとりたいから
- 希望する学校や会社にはいりたいから
- 人や社会の役に立ちたいから
- いろいろなことを知りたいから
- 学校でみんなについて行けないと困るから
- 学校に行っているから
- 親やまわりの人が勉強しろというから
- なんとなく
- その他（ ）

問2. あなたは、おたがいに理解し、心をうちあけて話せる「親友」がいますか。

- いつもいる
- 前はいなかったが今はいる
- 前はいたが今はいない
- ずっといない

問3. あなたは、掃除当番やクラスで決められた仕事をどのようにしていますか。

- まじめに責任をもってする
- しかたないからする
- ときどき人にまかせてさぼる
- まったくしない

問4. あなたは、家族の人と将来や人生のことについて話すことがありますか（どんな仕事につくか、どんな生き方をするかなど、受験以外のことで）。

お父さんと（ ） お母さんと（ ） その他の家族の誰かと（ ）

- よくある
- ときどきある
- あまりない
- まったくない

問5. あなたは、家族の人と学校生活について話すことがありますか。

お父さんと（ ） お母さんと（ ） その他の家族の誰かと（ ）

- よくある
- ときどきある
- あまりない
- まったくない

問6. あなたにとって、家族の人はどのような存在ですか。それぞれ1つずつえらんでください。

お父さんは（ ） お母さんは（ ） その他の家族の誰かは（ ）

- 尊敬ができたり、たよりになる人
- 理解のある人
- 友だちのような親しみのもてる人
- いろいろ教え指導してくれる人
- 自分勝手に無責任な人
- 口うるさい人
- 生活費をかせいでくれる人
- 放任で甘い人
- その他（ ）

問7. あなたの家族の人は、あなたに対して甘い方だと思いますか。

お父さんは（ ） お母さんは（ ） その他の家族の誰かは（ ）

- たいへん甘い
- まあまあ甘い
- あまり甘くない
- きびしい

問 8. あなたは、こづかいをどのようにもらっていますか。

1. 一月まとめて
2. 毎日定額
3. 必要時に
4. もらっていない
5. その他 ()

問 9. あなたは、家の手伝いをしていますか。

1. 言われなくてもする
2. 言われたらする
3. 言われてもしないことがある
4. 言われてもしない
5. 言われないのでしない

問 10. あなたは、家庭生活に満足していますか。

1. とても満足している
2. まあまあ満足している
3. あまり満足していない
4. まったく満足していない

問 11. あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師についたりしていますか (おけいごとはのぞく)。

1. 学習塾に通っている
2. 家庭教師についている
3. 両方ともしている
4. どちらともしていない

問 12. あなたは、平均してテレビを1日どのくらいみえていますか (日曜日や休日はのぞく)。

1. 30分程度
2. 1時間程度
3. 1時間30分程度
4. 2時間程度
5. 2時間30分程度
6. 3時間程度
7. 3時間30分程度
8. 4時間以上
9. まったくみえていない

問 13. あなたは、どこにいる時に楽しいと感じることが多いですか。

1. 学校
2. 家庭
3. 友だちの家
4. その他 ()

問 14. あなたは、休日をどのように過ごしていますか。多いものから2つえらんでください。

- 1位 () 2位 ()
1. 家でなんとなくゴロゴロしている
2. 音楽やラジオを聞く
3. テレビをみる
4. 読書をしたり、まんがや雑誌などを読む
5. 家で勉強をしたり、学習塾に行ったりする
6. スポーツなどして外で遊ぶ
7. 家でファミコンなどをして遊ぶ
8. 趣味などをする
9. ボランティア活動や奉仕活動に参加する
10. その他 ()

問 15. あなたは、服装や髪型などファッションに関心がありますか。

1. とてもある
2. まあまあある
3. あまりない
4. まったくない

問 16. あなたは異性に関心がありますか。

1. とてもある
2. まあまあある
3. あまりない
4. まったくない

問 17. あなたは、自分で判断し行動しようとしていますか。

1. いつもしている
2. ときどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしていない

問 18. あなたは自分から進んで物事に取り組もうとしていますか。

1. いつもしている
2. ときどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしていない

問 19. あなたは、がまんすべき時はがまんしようとしていますか。

1. いつもしている
2. ときどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしていない

問 20. あなたが、今もっとも悩んでいること、困っていることを次の順で選んでください。なお、悩んだり、困ったりしていることがない場合は、「特にない」に○をつけてください。

- もっとも悩んだり困ったりしていること ()
- 次に悩んだり困ったりしていること ()
1. 健康
2. 体型
3. 性格
4. 進路
5. 勉強・成績
6. 部活動
7. 友だち・クラス
8. 恋愛・異性
9. その他 ()
10. 特にない

問 21. あなたは、困っていることや悩みを誰に相談しますか。次の順で選んでください。なお、相談する人がいない場合は、「相談する人がいない」に○をつけてください。

- もっとも相談する人は () 次に相談する人は ()
1. 父
2. 母
3. 祖父・祖母
4. 兄弟姉妹
5. 友だち
6. 先生
7. 誰にも相談しない
8. その他 ()

問 22. あなたは、最近「明日からもう学校に行きたくない」と思うことがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

◇ご協力ありがとうございました。

男性の保護者用

お子さんが持ち帰られたアンケートすべて、返信用封筒に入れて提出ください

中学生の家庭教育に関するアンケート

名前を記入する必要はありません

◎記入の仕方についてのお願い

- 1 この調査用紙を持って帰られたお子さんについてお答えください。
- 2 このアンケートには、男性の保護者がお答えください。
- 3 各質問に対する答えは、回答項目のうちもっともあてはまるものの番号（1 2 3・・・）を○でかこんでください。また、（ ）の中には番号や必要事項を記入してください。
- 4 次の欄にお答えください。

お子さんの学年	お子さんの性別	アンケートを記入されるのは	
1. 1年 2. 2年 3. 3年	1. 男 2. 女	1. 親 2. 祖父 3. 叔父	4. 兄弟 5. その他

問1. あなたは、今朝お子さんを起こしましたか。

1. はい 2. いいえ

問2. あなたは、お子さんが校則に違反した服装や髪型をしている場合、どのように対応をしていますか。

1. きびしくしかる 2. おだやかに注意する 3. 特に何も言わない
4. 母親（妻）に任せる 5. その他の家族に任せる 6. その他（ ）

問3. あなたは、お子さんが宿題や手伝いを忘れていたら注意しますか。

1. 必ずする 2. ときどきする 3. あまりしない 4. 全くしない

問4. あなたは、お子さんのあなたに対する言葉づかいが乱暴であったとき、どのような対応をしていますか。

1. きびしくしかる 2. おだやかに注意する 3. 特に何も言わず聞き流す
4. 母親（妻）に任せる 5. その他の家族に任せる 6. その他（ ）

問5. あなたは、お子さんの成績に最も影響するものは次のどれだと思いますか。1つ選んでください。

1. 先生の教え方や人柄 2. クラスの雰囲気 3. お子さんの友だち 4. 本人の能力
5. 本人の努力 6. 家庭の環境 7. 地域の環境 8. 塾や家庭教師
9. その他（ ）

問6. あなたは、お子さんと、お子さんの将来や人生のことについて話すことがありますか（どんな仕事につくか、どんな生き方をするかなど、受験以外のことで）。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問7. あなたは、お子さんとお子さんの学校生活について話すことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問 8. あなたは、お子さんに家庭のことで意見を聞いたり、相談したりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問 9. あなたは、お子さんをほめてやることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問 10. あなたは、お子さんに自主性（自分で判断し行動する）があると思いますか。

1. 大いにあると思う 2. まあまああると思う 3. あまりないと思う 4. 全くないと思う

問 11. あなたは、お子さんに積極性（自分から進んで物事に取り組む）があると思いますか。

1. 大いにあると思う 2. まあまああると思う 3. あまりないと思う 4. 全くないと思う

問 12. あなたは、お子さんに忍耐力（がまんすべき時はがまんする）があると思いますか。

1. 大いにあると思う 2. まあまああると思う 3. あまりないと思う 4. 全くないと思う

問 13. あなたは、お子さんを兄弟姉妹やよその子を引き合いに出して、注意したりしかったりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問 14. あなたは、お子さんを「男の子だから、女の子だから」といって注意することがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問 15. あなたは、お子さんに対して腹が立ち、殴りたいと思ったことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問 16. あなたは、現在お子さんについて困っていること、悩んでいることがありますか。次の順で記入ください。

なお、困っていることや悩みのない人は、最後の「特にない」に○をつけてください。

最も困っていること、悩んでいること（ ） 次に悩んでいること、困っていること（ ）

1. 成績・進学のこと 2. 身体の成長のこと 3. 家族への反抗・暴言など 4. 学校に行きたがらない
5. 友だちづきあい 6. 服装・髪型・言葉づかいなどがみだれている
7. 生活がだらしくやる気がない 8. その他（ ） 9. 特にない

問 17. あなたの生きがいの対象は何ですか。1つ選んでください。

1. 妻 2. 子ども 3. 自分の趣味 4. 家事 5. 仕事 6. その他（ ）
7. 特にない

問 18. あなたは、お子さんのしつけに自信がありますか。

1. 大いにある 2. まあまあある 3. あまりない 4. 全くない

問 19. あなたは、お子さんのしつけについて甘いほうだと思いますか。

1. 大変甘いと思う 2. まあまあ甘いほうだと思う 3. あまり甘くない方だと思う
4. きびしいほうだと思う

問 20. あなたは、お子さんの世話をしている方だと思いますか。

1. 大変よくしているほうだと思う 2. まあまあしているほうだと思う
3. あまりしていないほうだと思う 4. ほとんどしていない

問 21. あなたは、しつけについて本を読んだり、テレビ番組をみたり講演会にいったりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問 22. あなたは、お子さんのしつけについて今どんなことに心を配っていますか。次の順で選んでください。

なお、しつけについて取り立てて心を配っていない方は、「特にない」に○をつけてください。

最も心を配っていること（ ） 次に心を配っていること（ ）

1. 友だちとの関係 2. あいさつや言葉づかい等の基本的な生活習慣 3. 自主性
4. 行動の積極性 5. 自己抑制（忍耐力） 6. 学習意欲・習慣 7. 健康管理
8. こづかいの使い方 9. その他（ ） 10. 特にない

◇ご協力ありがとうございました。

女性の保護者用

お子さんが持ち帰られたアンケート
すべて、返信用封筒に入れて提出く
ださい

中学生の家庭教育に関するアンケート

名前を記入する必要はありません

◎記入の仕方についてのお願い

- 1 この調査用紙を持って帰られたお子さんについてお答えください。
- 2 このアンケートには、女性の保護者がお答えください。
- 3 各質問に対する答えは、回答項目のうちもっともあてはまるものの番号（1 2 3・・・）を ○でかこんでください。たま、（ ）の中には番号や必要事項を記入してください。
- 4 次の欄にお答えください。

お子さんの学年	お子さんの性別	アンケートを記入されるのは
1. 1年 2. 2年 3. 3年	1. 男 2. 女	1. 親 2. 祖母 3. 叔母 4. 姉妹 5. その他

問1. あなたは、今朝お子さんを起こしましたか。

1. はい 2. いいえ

問2. あなたは、お子さんが校則に違反した服装や髪型をしている場合、どのように対応をしていますか。

1. きびしくしかる 2. おだやかに注意する 3. 特に何も言わない
4. 父親（夫）に任せる 5. その他の家族に任せる 6. その他（ ）

問3. あなたは、お子さんが宿題や手伝いを忘れていたら注意しますか。

1. 必ずする 2. ときどきする 3. あまりしない 4. 全くしない

問4. あなたは、お子さんのあなたに対する言葉づかいが乱暴であったとき、どのような対応をしていますか。

1. きびしくしかる 2. おだやかに注意する 3. 特に何も言わず聞き流す
4. 父親（夫）に任せる 5. その他の家族に任せる 6. その他（ ）

問5. あなたは、お子さんの成績に最も影響するものは次のどれだと思いますか。1つ選んでください。

1. 先生の教え方や人柄 2. クラスの雰囲気 3. お子さんの友だち
4. 本人の能力 5. 本人の努力 6. 家庭の環境
7. 地域の環境 8. 塾や家庭教師 9. その他（ ）

問6. あなたは、お子さんと、お子さんの将来や人生のことについて話すことがありますか（どんな仕事につくか、どんな生き方をするかなど、受験以外のことで）。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問7. あなたは、お子さんとお子さんの学校生活について話すことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問 8. あなたは、お子さんに家庭のことで意見を聞いたり、相談したりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問 9. あなたは、お子さんをほめてやることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問 10. あなたは、お子さんに自主性（自分で判断し行動する）があると思いますか。

1. 大いにあると思う 2. まあまああると思う 3. あまりないと思う 4. 全くないと思う

問 11. あなたは、お子さんに積極性（自分から進んで物事に取り組む）があると思いますか。

1. 大いにあると思う 2. まあまああると思う 3. あまりないと思う 4. 全くないと思う

問 12. あなたは、お子さんに忍耐力（がまんすべき時はがまんする）があると思いますか。

1. 大いにあると思う 2. まあまああると思う 3. あまりないと思う 4. 全くないと思う

問 13. あなたは、お子さんを兄弟姉妹やよその子を引き合いに出して、注意したりしかったりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問 14. あなたは、お子さんを「男の子だから、女の子だから」といって注意することがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問 15. あなたは、お子さんに対して腹が立ち、殴りたいと思ったことがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない

問 16. あなたは、現在お子さんについて困っていること、悩んでいることがありますか。次の順で記入ください。

なお、困っていることや悩みのない人は、最後の「特にない」に○をつけてください。

最も困っていること、悩んでいること（ ） 次に悩んでいること、困っていること（ ）

1. 成績・進学のこと 2. 身体の成長のこと 3. 家族への反抗・暴言など 4. 学校に行きたがらない
5. 友だちづきあい 6. 服装・髪型・言葉づかいなどがみだれている
7. 生活がだらしくやる気がない 8. その他（ ） 9. 特にない

問 17. あなたの生きがいの対象は何ですか。1つ選んでください。

1. 夫 2. 子ども 3. 自分の趣味 4. 家事 5. 仕事 6. その他（ ）
7. 特にない

問 18. あなたは、お子さんのしつけに自信がありますか。

1. 大いにある 2. まあまあある 3. あまりない 4. 全くない

問 19. あなたは、お子さんのしつけについて甘いほうだと思いますか。

1. 大変甘いと思う 2. まあまあ甘いほうだと思う 3. あまり甘くない方だと思う
4. きびしいほうだと思う

問 20. あなたは、お子さんの世話をしている方だと思いますか。

1. 大変よくしているほうだと思う 2. まあまあしているほうだと思う
3. あまりしていないほうだと思う 4. ほとんどしていない

問 21. あなたは、しつけについて本を読んだり、テレビ番組をみたり講演会にいったりすることがありますか。

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない

問 22. あなたは、お子さんのしつけについて今どんなことに心を配っていますか。次の順でえらんでください。

なお、しつけについて取り立てて心を配っていない方は、「特にない」に○をつけてください。

最も心を配っていること（ ） 次に心を配っていること（ ）

1. 友だちとの関係 2. あいさつや言葉づかい等の基本的な生活習慣 3. 自主性
4. 行動の積極性 5. 自己抑制（忍耐力） 6. 学習意欲・習慣 7. 健康管理
8. こづかいの使い方 9. その他（ ） 10. 特にない

◇ご協力ありがとうございました。

子どもの学年別集計

	肢	問 1	問 2	問 3	4-1	4-2	5-1	5-2	6-1	6-2	7-1	7-2	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	14-1	14-2	問 15	問 16	問 17	問 18	問 19	20-1	20-2	21-1	21-2	問 22
	1年	1	28.9	68.3	44.6	8.6	18.5	16.4	40.7	36.0	29.3	7.1	4.9	61.1	16.5	30.2	29.7	4.5	33.3	14.8	11.5	25.3	8.7	21.3	11.9	27.0	2.8	3.7	4.7	10.6
	2	21.3	13.3	34.0	30.5	45.3	39.4	41.3	10.7	18.3	41.2	35.3	1.8	54.7	55.0	2.3	11.7	20.7	5.1	7.3	37.0	39.2	58.7	56.5	56.6	10.3	6.6	31.2	22.0	21.0
	3	2.8	10.2	19.9	37.9	22.9	29.9	13.1	5.8	10.8	37.5	44.5	24.8	20.3	11.2	0.5	8.1	27.8	11.9	16.0	25.3	36.4	16.8	27.2	13.3	3.8	5.7	1.5	1.5	24.3
	4	8.8	7.0	0.5	23.1	13.2	14.3	4.9	21.6	26.7	14.3	15.4	5.4	3.7	1.9	66.0	17.8	10.2	8.8	15.9	10.7	13.4	1.6	2.8	1.9	3.7	4.1	3.3	9.1	45.7
	5	12.3							4.0	0.8			4.9	2.8			8.7		1.4	3.3						21.4	15.9	40.7	16.9	
	6	7.5							6.8	9.5							18.8		15.7	13.4						4.3	4.5	1.2	4.2	
	7	3.7							11.8	2.1							9.8		12.2	12.7						7.5	5.3	12.2	12.6	
	8	10.0							1.1	0.8							18.2		11.1	9.8						4.3	4.9	1.5	1.1	
	9	2.7							3.1	1.8							1.1		0.3	0.1						2.8	1.2			
	10	0.0																	17.2	5.6						35.8	17.2			
2年	肢	問 1	問 2	問 3	4-1	4-2	5-1	5-2	6-1	6-2	7-1	7-2	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	14-1	14-2	問 15	問 16	問 17	問 18	問 19	20-1	20-2	21-1	21-2	問 22
	1	26.4	72.7	40.8	10.7	18.0	12.1	35.4	33.3	22.9	10.7	4.3	64.7	17.0	27.9	37.3	3.4	38.3	16.9	15.1	27.2	13.5	23.1	12.3	25.8	3.6	3.3	3.6	8.7	9.9
	2	25.8	13.1	35.3	26.7	46.1	31.1	39.8	10.8	18.4	40.3	39.8	1.6	56.5	52.8	6.1	7.9	19.9	8.2	12.2	39.6	40.0	57.6	53.9	57.5	8.2	7.3	26.3	25.4	22.7
	3	2.6	6.9	21.7	40.5	27.2	38.8	18.3	7.2	13.9	36.1	40.3	23.2	18.0	13.7	0.7	8.1	26.0	14.1	17.4	24.7	36.5	15.6	29.1	13.2	2.8	3.8	0.5	2.0	28.1
	4	6.3	7.0	1.3	22.1	8.7	18.0	6.5	19.3	22.7	12.9	36.1	4.8	3.0	3.7	54.8	18.1	11.2	7.1	14.4	7.0	8.6	2.2	3.6	2.4	7.8	10.8	3.4	7.8	37.9
	5	7.1							2.7	0.6		12.9	4.4	3.4			8.1		0.8	2.0						26.8	16.4	48.6	17.3	
	6	10.7							7.0	14.4							23.1		13.9	7.7						5.2	4.1	1.1	3.3	
	7	4.8							13.4	2.6							7.5		10.7	11.5						6.9	5.3	12.2	11.1	
	8	10.7							2.1	0.6							22.3		8.6	9.8						5.0	6.7	2.0	1.7	
	9	3.3							4.1	4.0							0.3		0.4	0.4						1.8	1.5			
10	0.0																	18.2	6.5						29.6	9.6				
3年	肢	問 1	問 2	問 3	4-1	4-2	5-1	5-2	6-1	6-2	7-1	7-2	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	14-1	14-2	問 15	問 16	問 17	問 18	問 19	20-1	20-2	21-1	21-2	問 22
	1	21.5		51.6	12.9	28.3	13.4	37.2	24.8	16.9	10.4	4.8	64.4	17.5	23.1	50.2	4.4	40.2	19.9	13.8	34.0	16.8	28.6	15.5	34.5	2.1	2.9	2.9	7.3	10.5
	2	42.2		31.1	37.4	46.1	33.9	40.4	12.2	24.0	42.2	44.0	2.2	55.3	53.8	7.0	11.8	17.5	10.1	18.3	40.4	49.0	55.4	55.2	48.4	8.9	7.2	27.6	23.2	26.8
	3	3.0		16.0	32.2	18.5	33.9	15.5	6.0	14.8	33.0	36.1	22.6	15.7	15.0	0.6	9.6	21.2	12.0	17.1	17.7	24.9	11.1	23.2	11.1	2.2	5.9	0.8	1.5	25.2
	4	5.8		0.7	17.5	7.1	18.7	6.9	22.5	21.2	14.3	15.1	4.0	2.9	4.4	38.7	17.3	12.5	7.8	13.6	4.4	5.1	1.5	2.3	2.6	19.4	17.1	4.7	8.4	34.3
	5	3.0							3.9	0.4			3.2	4.8			8.1		2.1	4.1						29.3	20.6	44.6	17.3	
	6	8.0							7.4	14.5							21.0		10.6	5.8						3.3	4.0	1.7	5.5	
	7	3.9							14.5	3.0							7.4		7.0	8.5						5.0	5.5	11.7	8.9	
	8	7.0							2.8	1.0							16.1		12.2	10.0						4.7	5.6	1.7	1.1	
	9	3.4							5.9	4.3							0.7		0.6	0.1						2.1	0.3			
10	0.0																	13.9	3.0						18.3	5.0				

全学年を通しての男女別集計

	肢	問 1	問 2	問 3	4-1	4-2	5-1	5-2	6-1	6-2	7-1	7-2	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	14-1	14-2	問 15	問 16	問 17	問 18	問 19	20-1	20-2	21-1	21-2	問 22	
男子	1	28.0	70.3	42.4	10.5	16.3	11.3	25.0	32.7	20.4	5.9	5.3	64.9	15.2	23.7	39.6	4.1	31.1	13.0	9.0	15.2	8.7	24.6	11.2	27.0	4.2	4.5	7.0	13.2	7.0	
	2	29.6	10.7	35.9	34.0	43.9	35.9	44.4	12.6	23.5	36.6	38.7	2.5	57.8	58.3	4.9	11.4	20.3	4.5	9.4	37.6	37.5	55.6	52.8	54.4	6.5	4.4	29.9	17.3	19.7	
	3	3.6	8.3	20.5	36.5	26.4	34.7	21.0	6.2	8.3	41.1	16.4	19.7	16.1	12.5	0.6	9.2	31.6	9.5	14.6	33.1	39.2	14.4	29.8	13.2	3.3	4.3	1.3	1.8	25.5	
	4	8.3	9.9	0.9	19.1	13.4	18.2	9.6	23.6	27.1	16.4			5.6	2.9	2.7	52.1	17.8	10.5	5.0	12.3	10.9	11.1	2.6	3.5	2.7	11.0	11.1	3.3	6.5	45.3
	5	5.8								2.7	0.5			4.7	5.3			8.6		1.6	3.1						26.7	15.3	32.8	14.3	
	6	6.6								6.7	14.6							18.8		21.8	12.7						4.6	3.4	1.7	4.7	
	7	4.9								11.5	2.2							8.2		18.0	19.4						3.4	3.6	17.6	11.4	
	8	9.0								1.2	1.0							18.8		12.1	10.3						3.1	4.4	2.1	0.7	
	9	2.5								2.9	2.2							0.5		0.6	0.1						1.8	0.4			
	10	0.0								0.0										11.1	4.1						31.4	13.5			
女子	肢	問 1	問 2	問 3	4-1	4-2	5-1	5-2	6-1	6-2	7-1	7-2	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	14-1	14-2	問 15	問 16	問 17	問 18	問 19	20-1	20-2	21-1	21-2	問 22	
	1	23.4	71.0	48.6	11.0	26.4	16.6	49.5	30.1	25.2	12.7	4.1	62.0	18.7	30.3	38.4	4.1	43.0	21.1	17.6	41.5	17.0	24.0	15.1	31.0	1.6	2.2	0.7	4.8	11.5	
	2	29.7	14.4	31.2	29.2	47.6	33.5	36.8	9.8	17.2	45.5	40.6	1.2	53.4	49.7	5.5	9.6	18.5	10.9	15.5	40.3	47.5	58.8	57.4	54.1	11.6	9.5	27.0	29.4	27.0	
	3	2.1	7.8	18.0	37.2	19.8	34.0	10.8	6.5	17.7	30.4	41.0	27.1	19.7	14.1	0.6	8.0	18.9	15.7	19.0	12.9	26.6	14.7	23.6	11.8	2.6	5.9	0.6	1.6	26.3	
	4	5.7	5.8	0.8	22.5	6.1	15.9	2.8	18.8	20.2	11.4	14.4	3.9	3.5	3.9	54.3	17.7	12.0	10.6	16.8	4.1	7.1	1.0	2.4	1.9	9.5	10.2	4.3	10.2	33.7	
	5	9.1								4.4	0.7			3.7	2.2			8.0		1.2	3.1						25.0	19.7	55.7	19.9	
	6	10.7								6.9	11.3							23.1		5.6	5.5						4.0	5.0	1.0	4.0	
	7	3.3								14.9	2.8							8.3		2.5	3.0						9.3	7.0	6.8	10.4	
	8	9.6								2.8	0.6							19.0		9.2	9.5						6.2	7.0	1.3	1.9	
	9	3.7								5.8	4.4							0.9		0.3	0.3						2.7	1.6			
10	0.0								0.0										21.5	5.9						24.7	8.0				

父親が記した学年別集計

	肢	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	16-1	16-2	問 17	問 18	問 19	問 20	問 21	22-1	22-2	
	1年	1	26.1	31.0	30.2	57.3	10.1	9.1	15.3	7.3	18.3	12.1	9.3	13.1	2.6	6.4	6.7	16.8	4.2	8.0	6.0	6.7	6.4	2.9	10.6	8.3
	2	73.6	45.4	44.9	32.1	2.3	53.7	56.1	38.2	65.9	58.4	53.3	53.3	29.9	35.6	35.1	3.6	1.6	39.5	51.5	53.2	40.9	13.4	31.2	8.3	
	3		5.7	19.1	5.1	4.1	31.2	24.3	41.9	12.6	25.6	33.4	28.1	40.5	37.4	39.5	3.3	2.4	10.6	35.1	28.1	37.8	38.2	9.1	10.8	
	4		6.9	5.9	2.0	10.4	5.7	3.9	10.4	1.0	1.6	1.3	2.6	24.8	18.4	16.0	0.5	0.5	0.5	4.7	9.8	12.7	43.4	3.9	6.5	
	5		0.0		0.3	60.2											3.6	3.8	11.6					3.3	7.8	
	6		10.0		2.6	9.0											2.3	1.1	16.3					9.6	11.6	
	7					0.0											2.9	3.3	10.1					6.7	5.7	
	8					0.3											1.8	0.5						0.8	0.7	
	9					1.6											62.0	16.0						1.1	0.3	
	10																							21.2	4.9	
2年	肢	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	16-1	16-2	問 17	問 18	問 19	問 20	問 21	22-1	22-2	
	1	19.8	28.8	23.2	55.7	8.7	13.7	15.8	6.9	17.9	14.6	13.2	15.2	3.1	9.4	6.6	24.7	5.5	9.0	7.7	7.4	6.1	3.7	9.5	7.8	
	2	79.9	45.1	54.1	31.4	2.0	50.2	50.8	36.8	63.5	55.5	49.7	54.4	27.5	35.6	36.5	2.8	1.5	37.3	50.8	54.1	38.0	16.3	30.2	5.5	
	3		7.7	15.8	5.7	4.4	29.1	29.1	42.6	15.3	26.1	33.4	26.1	41.1	34.2	34.0	2.3	2.0	10.4	35.4	25.9	41.3	41.7	12.4	11.2	
	4		8.3	5.8	2.8	9.8	6.6	4.0	12.0	1.8	1.8	1.8	2.3	26.4	19.2	21.3	0.5	0.2	0.5	4.1	10.4	12.7	36.7	5.4	8.0	
	5		0.5		0.2	61.2												3.2	5.5	13.8					3.7	7.7
	6		9.4		3.7	8.1												0.9	1.8	13.8					10.0	14.1
	7					0.3												3.5	2.9	9.2					6.4	6.7
	8					0.5												1.8	0.6						0.6	0.9
	9					1.5												57.7	4.6						0.5	0.2
	10																								17.9	2.5
3年	肢	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	16-1	16-2	問 17	問 18	問 19	問 20	問 21	22-1	22-2	
	1	19.7	29.5	22.3	52.5	9.7	12.5	12.1	7.4	19.0	18.8	14.7	17.1	4.2	8.8	7.5	40.0	4.5	6.7	8.6	7.7	6.7	3.8	8.5	6.0	
	2	79.6	45.6	46.7	35.7	2.4	58.5	50.3	34.0	60.0	53.8	46.7	52.2	25.7	33.2	35.6	1.1	2.7	36.4	46.6	55.3	36.7	12.7	25.4	8.5	
	3		8.6	23.8	5.2	3.9	21.9	30.4	43.7	15.8	23.8	34.3	25.7	40.6	36.2	36.1	2.0	1.7	12.2	36.5	25.4	37.5	39.8	13.5	7.5	
	4		7.1	6.0	2.0	10.3	6.6	6.9	12.5	3.0	1.6	2.0	2.5	27.3	19.4	18.5	0.5	0.2	1.1	5.5	8.9	16.1	41.5	5.0	6.7	
	5		0.3		0.0	62.1												3.6	6.1	13.3					3.3	7.2
	6		8.5		4.2	6.6												1.4	4.4	15.4					13.5	14.3
	7					0.3												2.2	2.7	9.7					8.0	6.9
	8					0.2												1.7	0.5						0.5	2.4
	9					1.4												45.0	5.2						0.9	0.3
	10																								19.0	2.2

母親が記した学年別集計

	肢	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	16-1	16-2	問 17	問 18	問 19	問 20	問 21	22-1	22-2	
	1年	1	71.0	32.0	50.8	58.8	11.4	21.7	47.1	14.7	22.7	14.9	14.4	16.1	3.9	5.0	6.9	21.7	8.4	4.1	3.0	3.5	16.1	9.2	15.5	12.9
	2	28.3	54.5	41.7	35.0	2.6	61.5	45.3	53.7	66.9	58.8	50.4	56.7	51.0	43.6	44.4	5.3	3.2	53.7	47.8	48.9	60.2	40.2	36.2	11.3	
	3		1.1	5.0	0.9	2.7	14.7	6.8	27.5	8.7	23.9	33.2	25.3	35.2	37.1	35.2	5.6	2.3	9.6	44.7	36.7	19.8	35.8	8.6	10.7	
	4		0.6	1.4	0.6	7.7	1.4	0.3	2.4	0.5	0.6	0.5	0.6	8.6	12.2	12.2	1.1	0.3	0.8	2.3	9.3	2.3	13.2	2.7	5.6	
	5		0.2		0.3	65.0											5.9	5.9	3.2					4.8	7.4	
	6		9.9		3.2	6.6											1.1	1.4	11.4					9.2	18.0	
	7					0.0											1.8	3.6	12.6					12.2	9.9	
	8					0.2											3.3	0.9						0.6	3.0	
	9					0.9											52.0	13.4						0.6	0.5	
	10																							7.1	3.2	
2年	肢	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	16-1	16-2	問 17	問 18	問 19	問 20	問 21	22-1	22-2	
	1	66.8	31.5	42.7	56.5	12.4	25.1	41.8	19.4	23.3	15.8	12.3	17.7	6.6	5.4	8.2	32.8	5.9	3.8	3.8	2.8	18.2	9.2	9.2	12.9	
	2	33.1	55.1	48.7	34.7	1.1	62.4	49.7	53.4	66.9	57.3	50.0	57.6	44.4	42.4	39.0	2.7	3.5	52.0	51.7	52.0	60.7	41.1	34.9	11.9	
	3		2.0	6.6	2.5	2.4	11.3	8.1	23.7	7.8	24.7	35.3	22.3	38.0	37.4	35.3	3.2	3.1	9.6	39.5	33.2	17.7	35.6	8.5	9.6	
	4		1.1	1.6	0.6	7.5	0.8	0.1	2.1	0.6	0.7	1.0	1.0	9.5	13.0	15.5	0.7	0.6	1.1	3.0	10.5	1.6	12.7	4.2	6.2	
	5		0.0		0.3	65.5												3.4	4.9	3.8					2.5	6.9
	6		9.2		3.5	7.3												1.4	1.6	11.7					14.1	16.5
	7					0.1												2.0	4.7	12.7					11.9	11.0
	8					0.1												2.5	1.0						0.3	1.8
	9					0.8												48.6	5.1						1.0	0.1
	10																								10.3	0.8
3年	肢	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	16-1	16-2	問 17	問 18	問 19	問 20	問 21	22-1	22-2	
	1	71.5	30.8	41.5	55.9	12.8	31.6	39.6	18.2	22.0	17.7	13.3	21.2	4.5	7.5	8.4	42.8	8.1	5.9	5.0	4.6	15.1	7.6	9.1	9.7	
	2	27.8	56.5	46.7	35.2	2.3	59.2	50.0	53.0	65.7	55.8	48.1	51.9	46.5	45.1	40.2	3.2	6.3	51.9	48.0	52.0	61.1	40.1	32.4	11.5	
	3		2.9	9.1	3.0	3.0	8.2	9.5	23.2	9.4	23.5	35.3	22.8	35.3	32.9	35.7	2.4	3.9	7.3	40.2	31.7	19.7	36.6	7.3	7.5	
	4		1.2	2.3	0.6	9.2	0.9	0.7	2.7	0.6	0.4	0.7	1.7	11.2	12.0	13.0	1.0	0.3	0.4	3.7	8.8	1.4	13.1	3.3	4.2	
	5		0.1		0.1	62.7												2.7	8.1	3.7					2.7	7.6
	6		7.3		3.9	4.3												1.3	3.2	10.8					15.7	15.7
	7					0.3												2.2	3.0	13.8					15.3	13.4
	8					0.3												2.6	0.7						0.4	3.6
	9					1.3												37.5	6.2						0.9	0.6
	10																								9.4	1.2

父親が記した全学年男女別集計

	肢	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	16-1	16-2	問 17	問 18	問 19	問 20	問 21	22-1	22-2
	男生徒	1	25.8	31.0	26.5	59.2	8.9	11.8	13.0	6.8	16.5	13.3	9.9	15.6	3.5	7.6	6.6	28.6	4.2	8.3	6.2	5.4	6.7	3.0	9.6
	2	73.5	47.1	49.1	29.9	1.9	57.0	56.0	38.3	66.2	54.8	49.5	52.6	28.6	30.7	38.1	3.3	2.1	39.1	51.5	53.7	42.9	14.6	25.9	7.3
	3		6.8	18.8	4.9	3.8	25.9	26.3	43.0	13.9	27.6	37.0	27.2	42.3	38.3	37.0	1.8	1.8	11.3	35.4	27.8	36.7	42.9	12.1	10.0
	4		5.2	5.0	1.3	10.0	4.9	4.3	9.8	1.1	1.8	1.2	1.9	23.4	20.7	15.9	0.5	0.2	1.0	4.2	10.7	11.3	37.3	6.0	8.2
	5		0.1		0.2	62.5											2.6	5.2	12.4					3.9	8.0
	6		9.4		3.9	8.2											0.5	2.1	14.3					13.2	13.1
	7					0.0											3.5	2.9	8.1					6.6	6.4
	8					0.4											2.1	0.9						0.8	1.3
	9					1.4											54.1	10.0						0.8	0.2
	10																							18.3	3.6
女生徒	肢	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	16-1	16-2	問 17	問 18	問 19	問 20	問 21	22-1	22-2
	1	18.0	28.6	23.8	51.3	10.1	11.9	15.8	7.6	20.2	17.0	14.8	14.7	3.2	8.8	7.3	26.0	5.3	7.6	8.7	9.0	6.1	3.9	9.4	7.2
	2	81.8	43.7	48.2	36.1	2.5	51.3	48.8	34.4	60.2	56.9	50.3	54.0	26.7	38.7	33.5	1.6	1.8	36.3	47.8	54.8	34.4	13.7	31.7	7.5
	3		7.9	20.3	5.7	4.5	28.8	29.6	42.6	15.3	22.8	30.6	26.0	39.4	33.6	35.9	3.2	2.3	10.8	35.9	25.2	40.9	37.2	11.4	9.6
	4		9.5	6.8	3.2	10.3	7.7	5.5	13.4	2.8	1.5	2.3	3.0	28.8	17.4	21.3	0.4	0.3	0.4	5.3	8.8	16.3	43.5	3.6	6.0
	5		0.4		0.1	59.9											4.3	5.1	13.4					3.0	7.2
	6		9.1		3.2	7.6											2.5	2.9	16.0					9.0	13.6
	7					0.4											2.4	3.0	11.2					7.5	6.6
	8					0.2											1.5	0.2						0.5	1.3
	9					1.6											55.5	7.0						0.9	0.3
	10																							20.4	2.8

母親が記した全学年男女別集計

	肢	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	16-1	16-2	問 17	問 18	問 19	問 20	問 21	22-1	22-2
	男生徒	1	73.7	31.1	45.6	55.2	12.4	22.2	31.8	14.0	21.9	12.5	10.5	15.8	5.0	3.9	7.3	32.4	7.5	4.6	4.2	3.3	17.5	8.3	9.3
	2	25.7	55.8	45.8	36.1	1.4	63.0	57.2	52.4	67.0	55.6	47.0	55.2	48.1	38.5	41.5	4.1	3.6	50.9	48.7	51.9	61.6	42.6	33.3	11.5
	3	0.0	1.3	6.5	1.7	3.1	13.4	10.5	28.9	9.0	29.6	39.7	26.3	35.7	40.1	36.7	3.4	2.3	9.1	42.5	33.8	17.0	35.0	9.8	10.6
	4	0.0	1.8	1.2	0.8	7.8	0.9	0.2	2.6	0.5	0.5	0.9	0.8	9.6	15.1	12.2	1.0	0.3	0.7	2.0	8.7	1.5	12.4	4.3	5.5
	5		0.0		0.3	65.4											2.9	5.6	4.4					4.0	9.2
	6		8.8		4.5	6.1											0.5	1.5	11.2					14.4	16.8
	7					0.2											2.4	3.9	13.0					12.9	11.6
	8					0.0											2.9	1.3						0.4	3.1
	9					0.8											47.5	8.6						0.5	0.2
	10																							7.7	1.5
女生徒	肢	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	16-1	16-2	問 17	問 18	問 19	問 20	問 21	22-1	22-2
	1	66.2	31.8	44.3	58.7	12.1	29.7	52.5	20.5	23.4	19.4	15.8	20.6	5.1	7.7	8.3	32.7	7.4	4.6	3.7	3.9	15.6	9.0	12.8	14.1
	2	33.3	55.0	45.7	34.0	2.5	59.4	40.6	54.2	66.1	58.7	51.7	55.6	46.4	48.3	40.8	3.3	5.0	53.9	49.6	50.2	59.8	38.7	35.5	11.7
	3	0.0	2.6	7.3	2.6	2.4	9.6	6.0	21.1	8.3	19.1	30.1	20.9	36.6	32.0	34.2	4.0	3.8	8.7	40.4	33.8	20.9	36.9	6.6	8.0
	4	0.0	0.3	2.2	0.4	8.4	1.1	0.5	2.3	0.5	0.6	0.5	1.4	9.9	10.0	14.8	0.8	0.5	0.8	3.9	10.3	1.9	13.6	2.6	5.2
	5		0.1		0.2	63.5											4.9	6.9	2.8					2.7	5.6
	6		8.8		2.6	6.1											1.9	2.5	11.4					11.8	16.7
	7					0.1											1.6	3.6	13.1					13.3	11.4
	8					0.4											2.7	0.5						0.5	2.6
	9					1.2											44.6	7.7						1.1	0.5
	10																							10.0	1.8

平成10年度
家庭教育子育て支援推進事業報告書
(冊子版)平成11年3月発行
(電子版)平成19年7月発行
福岡県立社会教育総合センター
福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2
TEL (092) - 947 - 3511
FAX (092) - 947 - 8029

※ 本報告書(電子版)は、平成13年度に作成した冊子版報告書を、平成19年度、ホームページでの公開を目的としてOCRによる読み取りその他の方法(文字の訂正・グラフの再作成含む)で電子化したものです。
そのため、グラフ等において冊子版とは若干の差異があります。